

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
① 学生確保の見通し	1
ア 定員充足の見込み	1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	10
ウ 学生納付金の設定の考え方	14
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	15
(2) 人材需要の動向等社会の要請	20
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	20
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	20

※参考資料 1～18

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ① 学生確保の見通し

全国的な同系列の学科への近年の志願動向を踏まえるとともに、周辺地域における同系列の学科の設置状況や近年の志願動向、さらには高校生に対するアンケート調査結果や私立大学としての収支の均衡の観点から総合的に定員充足の見込みを判断し、入学定員を健康科学部リハビリテーション学科80人（理学療法学専攻40人、作業療法学専攻40人）に設定することとした。その入学定員設定の根拠と、入学定員分の定員充足の見込みは、以下の通りである。

#### ア 定員充足の見込み

##### 1. 和歌山県における高齢化の進展（資料1）

これから加速する社会の超高齢化に伴い、理学療法士・作業療法士の活動領域は広がっており、和歌山県内の高齢化等（県人口 93 万 5 千人に対し、65 歳以上の人口は 30 万 6 千人で高齢化率 32.7%【全国 7 位】）の状況から、今後高齢化の進展や疾病構造の変化により、リハビリテーションの需要が高まるとともに、地域包括ケアシステムの構築が進む中で、在宅医療や介護、地域の保健予防活動など、様々な場面で理学療法士や作業療法士の活動の場が広がることが期待されている。和歌山県内の高齢化が今後も進み、理学療法士や作業療法士のニーズが広がっていくことで和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

##### 2. 和歌山県における回復期機能病床の予測（資料2）

将来の医療需要を踏まえ、各医療機関の機能分化と連携を図り、患者の状態に合った適切な医療提供体制を構築することが求められ、2025 年におけるあるべき医療提供体制を定める「地域医療構想」の策定が各都道府県に義務付けられた。各医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）に関する問題点として、和歌山県では平成 28 年度病床機能報告によれば、県内合計で 1,340 床が回復期機能を担っているとされる一方で、2025 年における和歌山県内の必要病床数としては 3,315 床となっており、全県的に回復期機能が不足している状況にある。これは県内に回復期病床を持っている病院が少ないためであると考えられる。今後、県が現在急性期を担うとしながらも実際は必ずしも急性期機能を担っていない病床からの転換を各病院に推進し、不足する回復期機能病床に関する対応を図っていくと思われる。そこで回復期機能を担うためのリハビリ人材が必要となってくることから和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

### 3. 和歌山県における人口10万人あたりの理学療法士数と作業療法士数（資料3）

平成 28 年 10 月 1 日現在における病院に勤務する和歌山県の理学療法士、作業療法士の状況は資料のとおりであり、人口 10 万人あたりでは、作業療法士は全国平均を下回っているが、理学療法士は全国平均を上回っている。各職種（病院勤務）の過去 5 年間の増加率は資料のとおりであり、理学療法士は全国増加率以上となっているが、作業療法士については全国より低い状況である。よって和歌山県における人口 10 万人あたりの作業療法士の数が少ない結果から大学を設置することで和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

### 4. 全国の高等学校卒業生における進学者数・進学率の推移（資料4-1）

文部科学省から発表された「令和元年度学校基本調査（速報値）」によると高等学校卒業後の状況は以下の通りである。

大学(学部)進学者数はほぼ52万人後半であるが、構成比はわずかながら上昇している。高等学校卒業生の大学等進学意欲は年々増大する傾向にあり、構成比率は上昇すると考えられる。

また、保健系分野への全国的な進学ニーズの高さがうかがえる。

文部科学省発表の学校基本調査（関係学科別入学者数）より、保健系分野への進学者数は年々増加していることが証明される。過去5年間の増加率を平均すると毎年3%ずつ増加している。

また、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター集計の「私立大学・短期大学等 入試志願動向」よりリハビリテーション学科を含む保健系学部へのニーズは非常に高いと判断できる。通常、同系統の学部が増加すると、それに伴って志願者数が増加しない限り、志願倍率や入学定員充足率は減少するが、保健系については志願者数は年々増加しており、入学定員充足率も100%を割ることなく安定的に推移していることからニーズの高さが立証される。よって、リハビリテーション学科を含む保健系学部へのニーズは非常に高いことから和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

また、中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向として、全国の 18 歳人口（資料 4-2）については、平成 30 年度は 118 万人であり、前年の平成 29 年度の 120 万人から減少し、平成に入ってからピークであった平成 4 年の 205 万人からは、87 万人も減少していることがわかる。他方で、大学入学者数は一貫して増加傾向にあり、平成 30 年度は 18 歳人口 118 万人のうち 63 万人が大学へ入学している。

次に、全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学進学率（資料 4-3）については、令和元年度の和歌山県の大学進学率は 46.0%である。全国平均を 7.7 ポイント下回っているものの、47 都道府県のうち進学率の高い順に見れば 26 番目に位置しており、大学進学率については全国の中間に位置していると言えよう。

また、大学進学率を近畿2府4県の経年推移で比較してみると（資料4-4）、直近令和元年度では和歌山県は最下位の46.0%ではあるものの、平成15年度から平成20年度くらいまでは増加傾向、その後平成20年度から令和元年度までは概ね安定傾向にあると言えるだろう。なおこの令和元年度の46.0%という数字は和歌山県での過去最高の大学進学率である。

他方で、地元の大学への進学者数を示す大学残留率を見てみると、まず全国47都道府県に見る和歌山県の大学残留率（資料4-5）については、令和元年度の和歌山県の大学残留率は14.3%であり、全国47都道府県中、46位となっている。長らく全国最下位であったが、ついに最下位を脱した（最下位は鳥取県の13.1%である）。

また、大学残留率を近畿2府4県の経年推移で比較してみると（資料4-6）、以下の3点が言えよう。第一に、2府4県とも平成15年度から特段大きな変動はなく安定傾向が見られる。第二に、2府4県のうち、大阪府、京都府、兵庫県の大学残留率は全国平均よりも高い。これは、大阪府、京都府、兵庫県には政令指定都市があり、また多くの大学が設置されていることによると推察される。第三に、逆に滋賀県、奈良県、和歌山県は全国平均より大学残留率が低くなっている。この3県の中でも和歌山県の残留率は最低であったが、この数年で改善されてきている。

以上を鑑みれば、和歌山県は大学進学率について全国で中間に位置するものの、地元大学への進学者数を示す大学残留率は全国47都道府県中、46位である。和歌山県では大学進学者を地元大学では受けきれておらず、大阪府、京都府、兵庫県などへの流出が考えられる。この数年の残留率の上昇は新たに和歌山県内に開学した2大学（東京医療保健大学和歌山看護学部と和歌山信愛大学教育学部）の影響と考えられ、和歌山県に今後、新大学が開設されれば、他県に流出する大学進学者を含む若者を引き留めることが可能となると思われる。

さらに、資料4-7における近畿2府4県の18歳人口予測と県内高校の大学への進学者数流出先について2019年197,547人から2031年は168,568人となり、28,979人の減少が予測される。減少率が高いのは、和歌山県で、2019年比較で22.3%の減少予測となる。減少数が多いのが、大阪府で83,004人から70,320人となり、12,684人の減少予測となる。ここでポイントとなるのが、県外流出率が全国2位である和歌山県内の高校生の流出先の毎年4割（1,800人前後）を占めているのが大阪府である。後述する高校生アンケート調査において、和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと（資料9-1 問6参照）について「新しい専門職大学に魅力を感じる」と回答した高校生が3割を超え、「交通の便が良い」「自宅から通える」と回答した高校生が3割近くある調査結果を踏まえると、広報活動で認知度をアップさせ、南近畿初の4年制リハビリ系専門職大学を新設することで大阪府にあるリハビリ系私立大学へ毎年進学している高校生の多くを取込むことができると考える。

## 5. 和歌山県内の進学者数・進学率の推移（資料5）

専門学校 和歌山国際厚生学院入学者における和歌山県出身者の割合は、ほぼ10割である。また、県内には大学が少なく、特に理学療法士及び作業療法士を養成する大学が一つもない、全国でも唯一の県であったが、令和2年4月から宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員60名）・作業療法学専攻（入学定員40名）が開学予定である。この大学の入試志願者状況などは2020年3月現在時点では公表されていない。1校しかない状況から宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻が開学される前まで県内唯一の理学療法士養成専門学校であった和歌山国際厚生学院が専門職大学へ移行するのは高齢化が進み全国7位の高齢化率となっている和歌山県の状況から考えて当然の流れである。2018年まで県外大学進学率が30年連続で全国1位となっているが、同じ医療系の大学として参考になるのが、和歌山市内に2018年1月に開学した東京保健医療大学和歌山看護学部である。この大学は看護師、保健師養成の私立4年制大学で入学定員90名のところ、入学者が104人で、そのうち100人（96.1%）が県内出身者で占められている。また、和歌山市内の専門職を養成する新設大学という点では、小学校教員養成の私立4年制大学で2019年4月に開学した和歌山信愛大学教育学部は入学定員80名のところ、入学者が83人で、そのうち80人（96.3%）が県内出身者で占められている。平成24年～令和元年までの理学療法士養成校に入学した者は平均129人、作業療法士養成校に入学した者は平均47人となっており、県内には私立の理学療法・作業療法養成大学は宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻（令和2年4月開学予定）1校のみであるが、本学が専門職大学を設置した場合の都道府県出身者の比率も、和歌山県が多数を占めることが予想されるため、志願者のターゲットは和歌山県及び大阪南部を想定できると考える。宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻は近畿では25番目の私立4年制リハビリ系大学であるのに対し、本学は近畿ではびわこリハビリテーション専門職大学に次ぐ2番目の専門職大学となる（全国では5番目のリハビリ系専門職大学となる）。南近畿初のリハビリ系専門職大学となることから、宝塚医療大学リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻とは異なり、大阪南部の高校生の志願者も取り込めるものと考え。よって本校や県内新設私立大学にみる和歌山県出身者割合の高さにより和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

## 6. 私立大学の理学療法士学校・作業療法士学校における入学定員の分布（資料6）

全国私立大学の理学療法士学校・作業療法士学校の入学定員の分布を調査したところ、下記のことが明らかになった。

第一に、理学療法士学校については、入学定員を40名とする学校が28校（31.8%）と最も多く、次に80名とするのが26校（29.5%）である。

第二に、作業療法士学校については、入学定員を40名とする学校が46校（71.9%）と最も多く、次に30名に設定している6校（9.4%）が続いている。

このような私立大学の理学療法士学校・作業療法士学校における入学定員の分布状況を鑑みれば、本学の入学定員数の設定は妥当であると思われる。よって私立大学の理学療法士学校及び作業療法士学校においてどちらも入学定員が40人と設定する大学が多数を占める結果から、和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

## 7. 本学・他大学類似学科の志願状況（資料7・8）

本学の過去5年間の入試関連状況は以下の通りである。志願者数が少なかった平成28.29年度の2ヶ年以外は例年、志願倍率は1.00倍を超えている。また和歌山県内の医療・福祉系産業への就業者の割合に増加傾向（資料15）が見られることから、その医療・福祉系産業に就職する専門職を養成する本学に今後も同等の志願者数が集まると予測できる。

また、近隣エリアの他大学類似学科（①大阪河崎リハビリテーション大学、②関西医療大学、③大阪保健医療大学）の過去3年間の入試関連状況は資料8の通りである。平成31年度では①②③全ての大学において志願者が募集定員を大きく上回る状況であり、この分野に対する高校生の関心の高さがうかがえる。

本学が所在する和歌山市（人口 354,782 人【令和 2 年 3 月 1 日現在】）のキャンパスの位置は、市街地の中心部に位置している（資料 9-3 高校生アンケート調査用リーフレットのアクセス欄参照）。交通は、南海和歌山市駅は南海電気鉄道の南海本線と和歌山港線その他、JR 西日本の紀勢本線が乗り入れている。近郊都市に居住する学生にとっても通学が可能である。

JR 和歌山駅から本学へのアクセスは、車で約 5 分、路線バスも約 10 分間隔で運行している。

以上のとおり、キャンパスは住宅地の中心にあり、通学環境面でも恵まれた環境にある。

和歌山県内の医療・福祉系産業への就業者の割合に増加傾向が見られること、近隣エリアの他大学類似学科の志願者が募集定員を大きく上回る状況、本学へのアクセスの利便性から和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

## 8. 近畿圏の同系他私立大学における過去3年間の志願動向（資料8）

上記の大学について、平成31年度入試の定員及び志願者数を合計すると、理学療法養成学科（専攻）の定員は190名、志願者数はのべ745名、作業療法養成学科（専攻）の定員は130名、志願者数はのべ339名である。他学科との併願などを考慮しても、近畿内私立大学で理学療法士、作業療法士の資格を取得できる学科に入学を希望している生徒は定員数より明らかに多い。入学定員を大幅に上回る志願者数の結果から、和歌山リハビリテーショ

ン専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。なお宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科は令和2年4月開学予定（理学療法学専攻60名、作業療法学専攻40名）であるが、令和2年3月現在、入試状況が公開されていないため分析できない。

また、上記の大学のうち、特に大阪河崎リハビリテーション大学（大阪府貝塚市水間）と関西医療大学（大阪府泉南郡熊取町）は和歌山県から近い大阪府南部に位置し、ともに理学療法と作業療法の学部を持っており、JR 阪和線和歌山駅又は南海電気鉄道和歌山市駅から電車で利用すると約1時間以内の所にある。資料5(2)の県内高校生の理学療法士及び作業療法士養成校への進学状況推移をみると私立大学へ進学する高校生が平均して全体の半数を占めている。特に作業療法士養成校への進学状況は過去8年間で最高の数字（平成31年3月に卒業した県内高校生の作業療法士養成校への進学者数全体は64名で、そのうち私立大学への進学者数は44名）となっている。よって、リハビリ系大学が一つもなかった和歌山県においては、4年制リハビリ系大学へ進学を希望する生徒は地理的な近さから両大学に多数いると思われる。本学が専門学校から専門職大学になった場合、県内では宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（入学定員60名）・作業療法学専攻（入学定員40名）（令和2年4月開学予定）と競合するが、本学は既存のリハビリ系大学ではなく、リハビリ系専門職大学であることを差別化できれば、その受験層を取込めるものとする。AO入試のない関西医療大学は偏差値ランキングも高く、進学校の生徒の受験者が多い一方、関西医療大学より偏差値ランキングの低い大阪河崎リハビリテーション大学は中堅校以下の受験生を取込んでいる。県外の大学では特にこの2大学は本学が専門職大学になることにより競合校になると思われる（両大学とも入学者の都道府県出身別データが公表されていないため推定の域を出ない）。

## 9. (1) 第三者機関による高校生アンケート調査結果概要（資料9-1）

新大学設置計画を実行するにあたっては、当然のことながら実際の学生募集の対象としている高校生の新学科に対するニーズについて、客観的データに基づいて認識しておく必要がある。そこで本学では、第三者機関による高校生を対象としたアンケート調査を実施している。調査結果は以下の通りである。

### 9. 1. 回答者の性別〔問1〕（資料9-1 P5単純集計表参照）

回答者に「性別」について伺ったところ、「男性」が4,665人（50.9%）、「女性」が4,507人（49.1%）、となった。回答者の男女比は、ほぼ半々であった。

### 9. 2. 高校卒業後の希望進路〔問3〕（資料9-1 P7 単純集計表参照）

回答者に「高校卒業後の希望進路」について伺ったところ、「大学進学」が4,814人（52.5%）と最も多く、次いで「就職」が1,948人（21.3%）、「専門学校進学」が1,398人（15.3%）

「専門職大学進学」が411人（4.5%）、「その他」が275人（3.0%）、「短期大学進学」が255人（2.8%）、「専門職短期大学進学」が60人（0.7%）の順となった。回答者の約半数強が「大学進学」を希望していることがわかったが、「専門職大学進学」が「短期大学進学」を上回っており、「専門職大学」の認知度は確実に上がっていると思われる。

### **9. 3. 和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと [問6]（資料9-1 P11 単純集計表参照）**

回答者に「和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと」について伺ったところ、「新しい専門職大学に魅力を感じる」が2,140人（31.4%）と最も多く、次いで「その他」が1,552人（22.8%）、「自宅から通える」が1,198人（17.6%）、「交通の便が良い」が812人（11.9%）、「就職に有利である」が605人（8.9%）、「リハビリテーション関係の仕事に興味・関心がある」が502人（7.4%）となった。「新しい専門職大学に魅力を感じる」が全体の約3割強を占めており、今後教育内容をはじめとした魅力をより積極的に広報し、既存の大学・専門学校との違いを説明していけば、本専門職大学への志願者が定員を超え、入学定員充足につながるものと考えられる。

### **9. 4. 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望 [問7]（資料9-1 P12 単純集計表参照）**

回答者に「和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が255人（3.7%）、「進学先の候補の1つとして考える」が461人（6.8%）、「進学を希望しない」が4,261人（62.6%）、「わからない」が1,827人（26.9%）となった。和歌山リハビリテーション専門職大学の入学定員合計は80名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の3.18倍の実数が得られた。

### **9. 5. 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻 [問8]（資料9-1 P13 単純集計表参照）**

回答者に「進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」について伺ったところ、「作業療法学専攻」が260人（37.1%）、「理学療法学専攻」が441人（62.9%）となった。

回答者の「進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」については、「作業療法学専攻」が全体の約4割弱、「理学療法学専攻」が全体の約6割強を占めるに至った。

### **9. 6. クロス集計 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻 [問9] × 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望 [問7]（資料9-1 P14 クロス集計表を参照）**

「問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」で「進学を希望する」を選択した255人の、「問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」の回答を見てみると、「作業療法学専攻」が121人（47.5%）、「理学療法学専攻」が133人（52.2%）、となった。

「作業療法学専攻」の入学定員合計は40名であり、「問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」で「進学を希望する」と回答し、かつ「問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」で「作業療法学専攻」を回答した者（121人）については、入学定員の3.02倍の実数が得られた。

他方で「理学療法学専攻」についても入学定員合計は40名であり、「問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」で「進学を希望する」と回答し、かつ「問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」で「理学療法学専攻」を回答した者（133人）については、入学定員の3.32倍の実数が得られた。

以上の高校生アンケート調査結果により、和歌山リハビリテーション専門職大学が設定する入学定員分の学生確保が、十分に見込めることが考えられる。

## **10. 高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込みについての客観的な根拠（資料10）**

過去5年間の和歌山国際厚生学院における社会人経験者の入学状況をみると、平成27年度には12人、平成28年度には6人、平成29年度には3人、平成30年度には8人、令和元年度は5人と推移している（平成26年は7人）。

また、和歌山国際厚生学院の入学者選抜試験においても、社会人経験者の選考は社会人入試や社会人特別入試などを設け、複数回実施しており、社会人経験者を受け入れる体制を整えているところである。

この経年推移を見る限り若干名の入学者となっているものの、**コンスタントに入学希望者が存在することが明らかになっており、今後の社会人経験者等の学生確保についても見込める状況となっている。**

## **11. 既設専門学校和歌山国際厚生学院の令和元年度入試の状況について**

既設の和歌山国際厚生学院の令和元年入試の状況については、専門職大学設置構想にかかるアンケート調査の実施により、リハビリ職の内容や魅力、将来性を高校生に周知する結果となり、本年度は応募者が増え、入学定員40名を大幅に上回る学生が確保できた。少子高齢化が進み、大学進学率が伸び、県外流出率全国2位で、大学志向が特に強い和歌山県にあって、既設の専門学校のままでも定員は充足しているので、専門職大学に移行すればさらに関心が高くなり、入学希望者が増えることはあっても定員が割れることはないとする。既設の専門学校には作業療法士養成学科はないが、資料5の作業療法士養成学校

への県内進学者過去8年間の平均が47名であり、理学療法士養成学校への県内進学者数の平均が129名と比べて約3分の1である現状を踏まえ、今後より積極的な広報活動によって、リハビリ職の知名度を上げていけば、作業療法士を希望する学生が増え、本専門職大学の作業療法学専攻を目指す受験者が増加するものと考えている。

さらに、リハビリ職の果たす役割が今後ますます重視されてくる社会の到来は必然であることから、理学療法学専攻希望の学生は当然増えることから、リハビリ職を強く希望する学生に作業療法士の使命、魅力、将来性を周知させ、入試の出願時において、第二希望専攻を認めるなど柔軟な入試を行うことにより、作業療法学専攻の定員は確実に充足できるものとする。

\*なお、資料5の県内高校生の理学療法士養成所への進学状況推移では過去8年間で平均129人が進学し、また、県内高校生の作業療法士養成所への進学状況推移では過去8年間で平均47人が進学している。

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 1. 「和歌山県における高齢化の進展（資料 1）」で用いたデータの概要

資料 1 として用いたデータは、e-stat 総務省 人口推計（統計表名：都道府県、年齢（5 歳階級）、男女別人口－総人口、日本人人口（平成 30 年 10 月 1 日現在））である。同統計表から、都道府県別の総数と 65 歳以上の数を採取し、高齢化率を 65 歳以上人口（千人）／総人口（千人）にて算出している。その上で、47 都道府県を高齢化率の高い順（降順）により並べ替えることで、全国における和歌山県の高齢化率の把握を試みたところである。

### 2. 「和歌山県における回復期機能病床の予測（資料 2）」で用いたデータの概要

資料 2 として用いたデータは、和歌山県 web ページの第七次和歌山県保健医療計画より抜粋したものである。リハビリ人材（理学療法士、作業療法士）の配置が必要な回復期病床の平成 28 年 7 月 1 日現在の状況と、将来の医療需要を踏まえた必要な病床数に向けて全県的に回復期病床が不足していることを示すデータとなっている。

### 3. 「和歌山県における人口 10 万人あたりの理学療法士数と作業療法士数（資料 3）」で用いたデータの概要

資料 3 として用いたデータは、厚生労働省病院報告に基づき作成したものである。平成 28 年 10 月 1 日現在における病院に勤務する和歌山県の理学療法士、作業療法士の状況を示したものである。

### 4. 「全国の高等学校卒業生における進学者数・進学率の推移等（資料 4-1）」で用いたデータの概要

資料 4-1 データの出典①は、過去 3 年間（平成 29 年から令和元年）の全国における、高等学校卒業生の進学者数と進学率を表したものであり、文部科学省学校基本調査 web ページより和歌山県内の「高等学校卒業生数」「大学等進学者数」「大学（学部）進学者数」「専修学校（専門課程）進学者数」を抜粋したものである。

②は、過去 5 年間（平成 27 年から令和元年）の全国の大学の保健関係学科入学者推移表を表したものであり、文部科学省学校基本調査 web ページより全国の大学の「関係学科別入学者数」を保健系分野のみ年度毎に抜粋したものである。

③は、過去 5 年間（平成 27 年から令和元年）の全国の私立大学学部系統別の動向を表したものであり、日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター web ページより全国の私立大学の「入学志願動向」を保健系分野のみ年度毎に抜粋したものである。

資料 4-2 データの出典は、18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移を表したものであり、文部科学省資料から抜粋・引用したものである。

資料 4-3 データの出典は、全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学進学率を表したものであ

り、学校基本調査（令和元年度）」（文部科学省）をもとに作成したものである。

資料 4-4 データの出典は、近畿地域における大学進学率の経年推移を表したものであり、「学校基本調査」（文部科学省）をもとに作成したものである。

資料 4-5 データの出典は、全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学残留率を表したものであり、「学校基本調査（令和元年度）」（文部科学省）をもとに作成したものである。

資料 4-6 データの出典は、近畿地域における大学残留率の経年推移を表したものであり、「学校基本調査」（文部科学省）をもとに作成したものである。

資料 4-7 データの出典は、近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測と県内高校の大学への進学者数流出先を表したものであり、リクルート進学総研マーケットリポート 2020 年 1 月号から抜粋・引用したものである。

## 5. 「和歌山県内の進学者数・進学率の推移（資料 5）」で用いたデータの概要

データの出典は、(1)は本法人専門学校の入学者数と和歌山県出身者数・割合を示したものであり、「入学者」と「県内出身者」でパーセンテージを示したものである。「入学者」は本法人専門学校の入試状況であり、厚生労働省「学校養成所施設認定規則に基づく報告等について」で報告した数値を用い、「県内出身者」は入学者の中で入学志願書の住所欄が和歌山県であるものを抽出したものである。(2)は県内高校生の理学療法士養成校及び作業療法士養成校への進学状況推移を示したもので、和歌山県福祉保健部医務課作成（令和 2 年 3 月）資料である。(3)は出身高校の所在地県別大学入学者数を示したものであり文部科学省 web ページより抜粋した。(4)は過去 3 年間（平成 29 年から令和元年）の和歌山エリアにおける、高等学校卒業者の進学者数と進学率を表したものであり、文部科学省基本調査 web ページより和歌山県内の「高等学校卒業生数」「大学等進学者数」「大学（学部）進学者数」「専修学校（専門課程）進学者数」を抜粋したものである。

## 6. 「私立大学の理学療法士学校・作業療法士学校における入学定員の分布（資料 6）」で用いたデータの概要

データの出典は、日本理学療法士協会及び日本作業療法士協会の web ページである。同 web ページより、私立大学の理学療法士学校と作業療法士学校における「入学定員数」と「学校数」の数値を拾うことで、入学定員設定に係る分布の表を作成した。また、この表においては、全学校数における、その定員設定を行った学校の比率をパーセンテージにより示すこととした。

## 7. 「本学・他大学類似学科の志願状況（資料 7）」で用いたデータの概要

データは本法人専門学校の入試状況であり、厚生労働省「学校養成所施設認定規則に基づく報告等について」で報告した内容である。

## 8. 「近畿圏の同系他私立大学における過去3年間の志願動向（資料8）」で用いたデータの概要

データは本学にも最も近隣の理学療法士、作業療法士の国家試験受験資格を取得できる私立大学3校のホームページより抜粋した。近隣の3校を選択した理由は本学の入学希望者の志願動向は、和歌山県下、大阪府下を中心に展開すると予測したためである。なお令和2年4月開学予定の宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻(入学定員60名)・作業療法学専攻(入学定員40名)の入試情報は令和2年3月時点では公開されていないため分析できなかった。

## 9. (1) 「第三者機関による高校生アンケート調査」で用いたデータの概要

高校生を対象としたアンケート調査の概要、調査データの概要は以下の通りである。

(資料9-1)「学校法人響和会における和歌山リハビリテーション専門職大学の設置に係る高校生アンケート調査結果報告書」(一般財団法人 日本開発構想研究所)

(資料9-2)「学校法人響和会による和歌山リハビリテーション専門職大学の設置に係る高校生アンケート調査で用いた調査票」(一般財団法人 日本開発構想研究所)

(資料9-3)「学校法人響和会による和歌山リハビリテーション専門職大学の設置に係る高校生アンケート調査で用いたリーフレット」(一般財団法人 日本開発構想研究所)

### 9. 1. 調査目的

学校法人響和会が令和3年4月に開設を予定している和歌山リハビリテーション専門職大学に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

### 9. 2. 調査対象

和歌山県の高等学校59校(私立9校含む)及び大阪南部の高等学校16校、合計75校に在籍する高校生2年生を対象に、第三者機関によるアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施に当たっては、学校法人響和会が75校のリストアップを行い、そのうちアンケート実施の承諾の得られた75校宛に学校法人響和会がアンケート調査票(資料9-2)を送付した。調査実施時には、回答者に対して新専門職大学、新学部学科に関する内容の周知を図る目的から、調査票(資料9-2)以外にリーフレット(資料9-3)等も提供した。

その際には、和歌山県に所在する公立高等学校50校については、和歌山県教育委員会の理解、協力、賛同を得て実施した(資料9-4参照)。その後、一般財団法人 日本開発構想研究所が実施高等学校60校よりアンケート調査票を回収し、集計分析を行った。高校別の発送・回収状況については回収表(資料9-1 P2~3)を参照。

### 9. 3. 実施時期

令和2年1月から3月にかけて調査を実施した。

### 9. 4. 回収状況

和歌山県の高等学校59校及び大阪南部の高等学校16校の合計75校に対して合計11,891票のアンケート調査票を学校法人響和会が送付した。その結果、60校から合計9,195票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、77.3%であった（資料9-1 P1～3）。

### 9. 5. 調査委託先

調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託の上、実施した。委託先は、一般財団法人日本開発構想研究所(東京都港区)である。

## 10. 「高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込みについての客観的な根拠（資料10）」で用いたデータの概要

本データは、和歌山国際厚生学院 専門学校事務室が保管するデータである。本学としては、本専門職大学が高等学校卒業者のみならず、社会人等の多様な学生の確保の見込めることを示すデータとして、直近のデータが適切であると判断し、平成27年、平成28年、平成29年、平成30年、令和元年の過去5ヵ年の数値をピックアップすることとした。平成27年から平成29年にかけて減少傾向にあること、平成29年から平成30年にかけて上昇傾向にあること等変動は見られるが、社会人のニーズが一定程度存在することを示すデータとなっている。

## ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金を授業料年額1,550千円、入学金200千円と設定するにあたり、和歌山県内の他私立大学の関連学部の学生納付金を参考にしながら、学生への授業料還元最大限を目途とし、本学としての収支が均衡する水準とした。

なお、現在の和歌山国際厚生学院の授業料年額は、1,550千円、入学金300千円と設定しているが、上記授業料と比較した場合、値上げはせず入学金を若干下げることとしたものである。

令和元年度の和歌山県内の私立大学の他、近畿圏内の関連学部の学生納付金は、資料11のとおりである。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

新設大学の場合、学習内容、学習方法、教授陣、学年歴、学生の厚生施設、就職斡旋のサービス、学生サービス等、志願者にとって不明な点が多くある。志願を検討している受験者に対し、それぞれの項目について丁寧な説明を行い、内容が十分浸透するようにしっかり周知することが、広報活動においてきわめて重要である。また、開学前から新設大学としての認知向上を図ることも必要とされる。

それらを踏まえて、本学では、明確な中長期的ビジョンおよび活動方針に基づき、本学のアドミッションポリシーに適った学生確保に向けて、全学体制の広報活動を展開する。広報活動の実施にあたっては、学内の教職員に対し組織的な広報への理解と認識を浸透させて、活動内容に矛盾が生じないように、情報の一元管理を徹底し、全学として連携・協働できる体制を構築する。

具体的には、高校訪問や進学ガイダンス等での対面形式でのプレゼンテーションによる情報提供の環境づくりを中心に、様々な広報媒体を活用しながら、地域に密着した医療系専門職大学である本学で学ぶ意義を伝えていく。

### 1. 広報体制

本学は、学生確保のための取組みをさらに充実させるため、学長を委員長に広報委員会を設置する他、事務局に入試広報室を設置し、学生確保の企画・立案、結果分析などを通じて広報活動の充実を図る。また、他大学の広報担当者との意見交換会を企画するなど情報収集も活発化させる。

#### <組織および活動内容>

広報委員会：中長期戦略ビジョンおよび活動方針の決定

入試広報室：

- ①広報に関すること。
- ②入学者の選抜に係る事務についての総括及び連絡調整に関すること。
- ③入学者選抜方法の改善についての企画、立案及び連絡調整に関すること。
- ④入学者選抜に係る調査統計及び報告に関すること。
- ⑤入学者選抜に係る情報提供に関すること。
- ⑥オープンキャンパスの企画、立案及び連絡調整に関すること。
- ⑦入試説明会、セミナー等の企画、立案及び実施に関すること。

広報担当教員：高校訪問・模擬授業・出前講義・進学ガイダンス

広報担当事務：スケジュール管理・イベント企画・広報媒体準備・高校訪問・進学ガイダンス・受験生動向調査・受験生窓口対応・広報媒体調査・会計処理・その他

## 2. 具体的な活動内容

### 2. 1. 高校訪問などを通じた高等学校への密な情報提供

専門学校 和歌山国際厚生学院では、高校訪問を重点的に行っており、令和元年度は県内59校のうち全校に訪問し、さらに全校とも複数回訪問を行った実績がある。なお大阪府南部の高校へは16校に訪問している。

高校訪問については今後も継続して実施し、高校進路指導部との一層の連携強化を図る。特に通学距離圏にある高等学校には定期的に訪問し、進路指導担当教員に本学の実態を伝えるとともに、医療系の進路を希望している生徒への情報提供を依頼する。また、在学生の志願動向等を把握し、推薦入試等の候補者を選択してもらう。その際、同じ教職員が特定の高校の担当者となり、高校の教員と情報を通して深い絆を築いていけるようにする。

高校の進学指導教諭との面談では、高校生・保護者の大学志向の広がりやクラブ活動の先輩に続く傾向があるなどの情報の他、和歌山市内の高校生は通学に時間を要するのを嫌う、授業料も大学選択時の重要な要素となるなど、高校教諭から生の意見を聞くことができ入試広報戦略に活かせるものである。この活動は、大学となってからも引き続き行なうこととしている。

大学の新しい情報については、訪問のほか、電話、郵送なども用いて密に情報提供を行い、生徒への情報提供を依頼する。また、高等学校主催の進路相談会、出前授業等については積極的に参加し、本学の周知及び理学療法士・作業療法士についての啓蒙活動を行う。

### 2. 2. オープンキャンパスでの情報提供

令和元年度【令和2年度募集】は地方での開催も含めて16回開催し、のべ154名の参加があった（本校開学以来最高の参加者数でもあった【資料12】）。今後も年複数回のオープンキャンパスを開催し、本学（設置予定）の設置の趣旨、概要、アドミッションポリシー等の説明を行う。

実技の体験もプログラムに加え、参加者に体験してもらうことで、入学後の学習内容の理解につなげる。また、そうした実習をサポートする実習室や施設を見学してもらう。そのほか、奨学金や入試の特徴等について個別に相談できるコーナーを設け、新設大学に対する疑問を解消する場とする。

### 2. 3. 大学説明会の開催

高校生やその保護者、あるいは高校の教員を対象に、大学説明会を開催する。本学の理念や設置の趣旨、アドミッションポリシーなどのほか、人材育成の方向性や就職に対する取組などについてきめ細かく説明する。開催場所として本学会場のほか、公民館などの公共施設等も考慮する。また、対象者を保護者や高校の教員に絞った開催も考慮する。

## 2. 4. ホームページの新設と情報発信

本学の理念や設置の趣旨、概要や受験情報等を閲覧できるように新しくホームページを構築する。ホームページは、高校生がスマートフォンで閲覧することを念頭にレスポンシブデザインを採用し、見やすく操作しやすいものとする。特に受験情報として、進学相談会やオープンキャンパスの日程、内容など様々な情報提供を行う。その他、大学の資料請求やオープンキャンパス申し込み、問い合わせなどもホームページから行えるようにシステムを構築する。また、トップページには最新情報を掲載し、常に新しい情報を発信する場とする。

大学設置認可後のサイトマップは以下を予定しているが、特に「在校生の声」だけでなく「卒業生の声」、「住まいの情報」、「療法士という仕事」、「卒業教育」などを掲載し、高校生や保護者目線で大学や卒業後の仕事をわかりやすく説明することに力を入れていく。

大学設置認可後のホームページサイトマップ

- (1) 大学案内（大学の紹介と特色ある取組み、学長挨拶、教育目標・沿革、教員紹介、施設・設備紹介、卒業教育）
- (2) 健康科学部、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻、療法士という仕事）
- (3) 入試情報（アドミッションポリシー、入試情報、入試に関する質問・疑問）
- (4) 各種支援（学生支援、保護者の方へ）
- (5) オープンキャンパスや進学相談会、個別見学、各種講座
- (6) 資格・就職（取得可能な資格と国家試験対策・就職支援、療法士が活躍するステージ、求人採用担当者の方へ、卒業生の声、卒業後の進路、就職実績）
- (7) 年間スケジュール、在学生の声、住まいの案内、各種証明書
- (8) 大学広報・情報公開（広報誌、情報公開、問い合わせ、資料請求）
- (9) 図書館（資料を探す、利用案内）

## 2. 5. 受験生向けメディア（進学情報誌・進学情報サイト）の活用

高校生が進学情報を調べる際に利用する様々な媒体を通じて本学を認知し、資料請求ができるように、業者（リクルート、マイナビ進学、さんぽう、ケーホウ、昭栄、日本ドリコム他）が発行・運営する複数の進学情報誌や進学情報サイトへ新設大学として広告を掲載する。

## 2. 6. 進学相談会への参加

業者が和歌山県内で主催する進学相談会に参加し、高校生や保護者に対して直接大学の理念や設置の趣旨、アドミッションポリシーなどを説明する機会とする。また、オープン

キャンパスなどへの参加を呼びかける。

## 2. 7. マスコミへの情報発信

大学の情報をできるだけ頻繁に新聞社（和歌山新報、紀伊民報等）やテレビ局等（テレビ和歌山、エフエム和歌山等）に発信する。また地域の情報紙（ニュース和歌山、リビング和歌山、リビけん、リズム、アガサス）等にも頻繁に発信する。大学入試広報の窓口として入試広報室を設置し、マスコミからの質問や依頼に対応する。

## 2. 8. 広告出稿

財政状況を勘案しつつ、オープンキャンパスや入学試験開催時期など、必要な時期に適切な広告を出稿する。

## 2. 9. 個別見学の対応

年に複数回オープンキャンパスの開催日を設定しているが、部活動などのため日程があわず参加できない高校生がいる。そのため、希望者に対して平日の個別見学、個別相談を受け入れ、細やかなニーズに対応する。

## 2. 10. 出前授業

出前授業は、依頼のあった高等学校に本学教員が出向き、理学療法・作業療法の解説をはじめ、リハビリテーションに関する基礎的な解説を行ない、リハビリテーションへの興味と学ぶ意欲を刺激する機会をつくるため実施する。

大学教員が高校生に直接接することができる出前授業は、教員への負担も考慮しながら実施するが、認知度アップや教育研究への理解を深めてもらう機会として有効である他、高校生が興味を持っている分野を探るということから有益である。

## 2. 11. PR誌の作成・配布

PR誌については、大学化される本学の特色をわかりやすく紹介するため、内容や色合いも創意工夫し、他大学との差別化を図るとともに、冊子を完成させる予定である。また、地域貢献活動や学生にとっての関心事である卒業後教育等の支援についても、医療現場で活躍中の卒業生からのメッセージを掲載する予定である。

本学は、近畿内同系列大学での作業療法学専攻への志願者数が理学療法学専攻と比べて少ないことも憂慮しており、その原因の一つに高校生が作業療法士という職業を知らないこともあるのではないかと分析している。

高齢化社会の進行を受けて、今後益々、認知症患者等への対応など作業療法士の担当範囲が拡大している。それとともに、作業療法士への求人倍率は、近畿内の養成校の中では高い数字を示している。

本学は近年特に需要の多い作業療法士の養成数の現状をそのまま放置できないと考えており、作業療法士の仕事を紹介する「作業療法士になろう！」というパンフレットを作成し高校生に配布する予定である。

これは、大学での作業療法士育成の重要性を認識して作成する予定であり、一般社団法人和歌山県作業療法士会と協力して作成する予定である。

作成予定のこれらのPR誌は、オープンキャンパス、進学情報会社主催の相談会、教員による出前授業、入試担当者2名による高校訪問、高校教員説明会、資料請求などに際して有効に使用する予定である。高校生等が受験を意識し始める前の早い段階から上述の広報活動を活性化させ、併せて、認可後はFacebookページを開設し、本学の教育・研究の他、学生生活等の内容を積極的に発信するなど、高校生等に理学療法士、作業療法士の魅力や職業の重要性を訴えていく。

また、高校生の医療・福祉系学部への進学希望者の掘り起こしにも力を入れることで、長期的な本学の学生確保の見通しがあると判断している。

## **(2) 人材需要の動向等社会の要請**

### **① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）**

和歌山リハビリテーション専門職大学は、近年の和歌山県における医療の現状を踏まえ、社会的に必要とされている理学療法士と作業療法士を養成する専門職大学として、地元和歌山県の地域社会に貢献することを目的としている。

その中で、様々な社会環境の変化に伴った人々の多様なニーズに適切に応えるために、学問的探求心を備え、豊かな人間性と幅広い教養と視野を持つ、質の高い専門性を併せ備えた人材、臨床現場で連携できる医療人材および地域社会に必要な医療人材の養成を主旨としている。幅広い視野で人間を理解できる教養を備え、専門職業人としての倫理観を育み、専門知識を発揮して社会のニーズに柔軟に対応し、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を教育目的としている。

### **② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠**

#### **1. 全国と和歌山県における、大学卒業者の就職者数と就職率（資料13）**

和歌山エリアと全国（参考）における、過去3年間の大学卒業者の就職者数（非正規雇用を含む）と就職率は以下の通り。

大卒者の就職率は年々上昇傾向にあり、和歌山では平成31年3月卒業者の就職率が73.5%となった。

#### **2. 学部別の大学卒業者の就職者数と就職率（資料14）**

関係学部別にみた平成31年3月の大学卒業者の就職者数（非正規雇用を含む）と就職率は以下の通り。

理学療法士、作業療法士コースを含む「保健その他」学部の就職率が2番目に高く89.2%。また、平成29年3月卒業生で89.6%、平成30年3月卒業生で89.3%と、いずれの年も就職率は9割近くとなっている。

#### **3. 医療・福祉産業従事者数と全有業者に占める割合（資料15）**

和歌山エリアと全国（参考）の、医療・福祉系産業就業者数と全有業者に占める割合は以下の通り。

医療・福祉系産業就業者はここ10年間で右肩上がりに数が増加しており、また全就業者に占める割合も15%を超えている。

大学卒業者の就職率は年々上昇しており、また、保健その他学部卒業者の就職率は令和元年で約9割となる。また、社会的に見ても医療・福祉系の従事者の数・割合は増加傾向が顕著である。

以上のことから、医療・福祉産業の従事者は今後も増加することが予想される。

また、現在、我が国では高齢化の進行で65歳以上の高齢者人口は3,558万人、総人口に占める割合は28.1%と共に過去最高となっている。また、75歳以上の人口が1,798万人となっている（平成30年10月1日総務省）。高齢者数は団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）には3,677万人に達すると見込まれている。その後も65歳以上人口は増加傾向が続き、令和24年（2042年）に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じると推計されている。高齢化の進行は、病気になる人、そしてリハビリテーションを必要とする人が増加することにつながり、理学療法士、作業療法士の職域も病院、介護福祉施設、デイサービス施設、サービス付高齢者住宅等へと広がりを見せていることから、高齢者、障害者を支える理学療法士、作業療法士のニーズが高まると予想している。

#### **4. 本学卒業生の就職動向及び他大学類似学科の就職状況**

##### **4. 1. 本学への求人数及び求人倍率（資料16）**

本学の過去3年間の求人数及び求人倍率は以下の通り。毎年県内外から卒業生数を大きく上回る求人が寄せられている。

本学は専門学校 和歌山国際厚生学院の組織を基に同分野の専門職大学（4年制）を設置するものであるが、専門学校の求人倍率は、上記のとおり、直近の3年間の実績で理学療法学科卒業生の36.1倍～50.9倍と入学定員を大幅に超える求人数がある。

また、平成30年度の求人件数に対する求人数は、理学療法学科で320施設等から1,431人の求人数となり、卒業生人数に対して40.9人の求人数となっている。

##### **4. 2. 本学独自の就職説明会の開催について**

本学は、学生の就職支援の一環として、「就職説明会」を実施する。

就職説明会は、和歌山市内のホテルや公共施設等に会場を設け、県内各地の医療機関、介護老人保健施設等、並びに大阪府などの県外からも医療機関関係者が1施設等当たり1～3人程度参加して行われる予定としている。

説明会会場は、施設毎にブースが設けられ学生が各ブースで施設の説明を受け、質疑が行われる。

また、学生には事前に参加施設から施設概要や、学生へのメッセージが記載された資料を配布予定としている。

#### 4. 3. 卒業生ネットワークの活用について

専門学校 和歌山国際厚生学院は、これまで232名の国家試験合格者を輩出し、そのうち90%超に当たる209名を和歌山県内の保険医療機関、介護福祉施設に送り出している。専門職大学設置後も県内各地で活躍する卒業生のネットワークを最大限活用し、学生の職業生活への移行支援の一環として、卒業生を招いて交流・研修会を開催するなど、学生の職業生活に対する理解や療法士としての職業意識の涵養を図る。

#### 4. 4. 専門学校の就職実績と支援体制について（資料17）

専門学校 和歌山国際厚生学院卒業生の就職状況は資料16に示すとおりであるが、平成27年度から令和元年度までの直近5年間における国家試験合格者の就職状況は100%である。

専門職大学となっても、引き続き長年に渡り構築された実習施設等との信頼関係を保ち、既卒者に対しては、卒後支援講習会、臨床教育研究会の開催等の卒後教育を充実させ、卒業生の生涯学習支援を促進するため学部長を委員長とする研修委員会を設置する等、卒業生支援を充実させ専門職大学との連携・信頼関係を構築すると同時に、県内に広がる卒業生からの本学学生の就職支援体制を充実させる等、母体の専門学校の就職活動の経験を加味して、万全の就職指導が可能である。

#### 5. 事業所アンケート調査結果概要（資料18-1、資料18-2、資料18-3）

新大学設置計画の実行にあたっては、新大学卒業予定者に対する事業所の採用ニーズ等について、客観的データに基づいて認識しておく必要がある。そこで本学では、事業所を対象としたアンケート調査を実施している。調査の概要と結果は以下の通りである。

##### 5. 1. 調査目的

学校法人響和会が令和3年4月に開設を予定している和歌山リハビリテーション専門職大学に関して、事業所が期待する教育内容、採用意向等を的確に把握することを目的とする。

##### 5. 2. 調査対象

和歌山リハビリテーション専門職大学の母体となる和歌山国際厚生学院の卒業生に対して採用実績のある、病院、診療所、介護老人保健施設等、合計923事業所を対象に、アンケート調査を実施した。調査実施時には、回答者に対して新大学に関する内容の周知を図る目的から、調査票（資料18-1）以外にリーフレット（資料18-2）等も提供した。

##### 5. 3. 実施時期

令和2年2月から3月にかけて調査を実施した。

## 5. 4. 調査票回収状況

本調査では、和歌山リハビリテーション専門職大学の母体となる和歌山国際厚生学院の卒業生に対して採用実績のある、病院、診療所、介護老人保健施設等、合計923事業所に対して合計923票（1事業所につき1票）のアンケート調査票を配布した。その結果、300事業所から合計300票（1事業所につき1票）の有効回答票を回収することができた。回収率は32.5%であった。

## 6. アンケート調査結果

### 6. 1. 単純集計（資料18-3参照）

#### 問5-① 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用意向

回答事業所に「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用意向」について伺ったところ、「採用したい」が41事業所（13.9%）、「採用を検討する」が94事業所（31.8%）、「採用を考えない」が75事業所（25.3%）、「わからない」が86事業所（29.1%）、となった。

回答事業所の「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用意向」については、「採用を検討する」が最も多く、全体の約3割強を占めている。

理学療法学専攻の入学定員40名に照らせば、「採用したい」（41事業所）のみで入学定員の1.02倍に該当する実数が得られた。

#### 問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用想定人数

回答事業所に「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用想定人数」について伺ったところ、「1人」が71事業所（53.4%）と最も多く、次いで「その他」が35事業所（26.3%）、「2人」が22事業所（16.5%）、「3人」が5事業所（3.8%）、と続いている。

回答事業所の「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用想定人数」については、「1人」が全体の約5割強を占め、最も多かった。

#### 問6-① 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用意向

回答事業所に「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用意向」について伺ったところ、「採用したい」が38事業所（13.0%）、「採用を検討する」が81事業所（27.6%）、「採用を考えない」が81事業所（27.6%）、「わからない」が93事業所（31.7%）、となった。

回答事業所の「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用意向」については、「わからない」が最も多く、全体の約3割強を占めている。

作業療法学専攻の入学定員40名に照らせば、「採用したい」（38事業所）のみで入学定員の0.95倍に該当する実数が得られた。

#### **問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用想定人数**

回答事業所に「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用想定人数」について伺ったところ、「1人」が62事業所（52.5%）と最も多く、次いで「その他」が31事業所（26.3%）、「2人」が24事業所（20.3%）、「3人」が1事業所（0.8%）、と続いている。

回答事業所の「和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用想定人数」については、「1人」が全体の約5割強を占め、最も多かった。

### **6. 2. クロス集計（資料18-4参照）**

#### **問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用想定人数 × 問5-①和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用意向**

クロス集計により、「問5-①和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用意向」で、「採用したい」と回答した41事業所の、「問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業者に対する理学療法士職員としての採用想定人数」の回答を見ると以下の通りとなった。

- ①「1人」の事業所は22事業所であった。
- ②「2人」の事業所は11事業所であった。
- ③「3人」の事業所が3事業所であった。
- ④「その他」を選んだ事業所は5事業所であった。

よって、④「その他」を選んだ5事業所を除くと、①「1人」×22事業所=22人、②「2人」×11事業所=「22人」、③「3人」×3事業所=「9人」となり、①②③を足し上げると、合計「53人」の採用意向があり、理学療法学専攻による入学定員40名の1.32倍に該当する実数が得られた。

**問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用想定人数×問6-①和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用意向**

クロス集計により、「問6-①和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用意向」で、「採用したい」と回答した38事業所の、「問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学健康科学部リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業者に対する作業療法士職員としての採用想定人数」の回答を見ると以下の通りとなった。

- ①「1人」の事業所は22事業所であった。
- ②「2人」の事業所は13事業所であった。
- ③「その他」を選んだ事業所は3事業所であった。

よって、③「その他」を選んだ3事業所を除くと、①「1人」×22事業所=22人、②「2人」×13事業所=「26人」となり、①②を足し上げると、合計「48人」の採用意向があり、作業療法学専攻による入学定員40名の1.2倍に該当する実数が得られた。

上記のクロス集計結果により、和歌山リハビリテーション専門職大学を開学し、卒業生が出た場合には、理学療法士、作業療法士いずれの職種においても本学の設定する入学定員分（理学療法学専攻40名・作業療法学専攻40名）以上の事業所からの採用ニーズがあることから、卒業後の進路見通しの目途が十分立っていると考えられる。

## 学生確保の見通しに関する資料 資料編 目次

- 資料 1 全国 47 都道府県に見る和歌山県の高齢化率
- 資料 2 和歌山県における回復期機能病床の予測
- 資料 3 理学療法士数と作業療法士数に係る人口 10 万人あたり従事者数と従事者数の増加状況
- 資料 4-1 ① 全国の高等学校卒業者の進学者数・進学率推移  
② 保健関係学科入学者推移表  
③ 私立大学入学志願動向 保健系
- 資料 4-2 18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移
- 資料 4-3 全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学進学率
- 資料 4-4 近畿地域における大学進学率の経年推移
- 資料 4-5 全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学残留率
- 資料 4-6 近畿地域における大学残留率の経年推移
- 資料 4-7 近畿 2 府 4 県の 18 歳人口予測と県内高校の大学への進学者数流出先について
- 資料 5 和歌山県内の進学者数・進学率の推移
- 資料 6 私立大学の理学療法士学校・作業療法士学校における入学定員の分布
- 資料 7 本学・他大学類似学科の志願状況
- 資料 8 近畿圏の同系他私立大学における過去 3 年間の志願動向
- 資料 9-1 学校法人響和会における和歌山リハビリテーション専門職大学の設置に係る高校生アンケート調査結果報告書
- 資料 9-2 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻 設置計画に係る高校生アンケート調査 調査票
- 資料 9-3 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻 概要リーフレット（高校生対象）
- 資料 9-4 和歌山県教育委員会からの「高校生アンケート調査への協力について（依頼）」および「別添」
- 資料 10 過去 5 カ年度に見る和歌山国際厚生学院における社会人入学者数の推移
- 資料 11 和歌山県内の私立大学の他、近畿圏内の関連学部の授業料

- 資料 12 オープンキャンパス・学校説明会 参加状況
- 資料 13 大学卒業者の就職者数・就職率推移
- 資料 14 学部別大学卒業者の就職者数と就職率
- 資料 15 医療・福祉系産業就業者数と全有業者におけるその割合
- 資料 16 本学過去3年間の求人数と求人倍率・就職状況
- 資料 17 本学卒業生の和歌山県内就職調べ
- 資料 18-1 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻 設置計画に関する事業所向けアンケート調査 調査票
- 資料 18-2 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻 概要リーフレット（事業所対象）
- 資料 18-3 事業所アンケート調査 単純集計結果
- 資料 18-4 事業所アンケート調査 クロス集計結果

## 資料 1

## ○全国 47 都道府県に見る和歌山県の高齢化率

都道府県	総人口(千人)	65歳以上人口(千人)	高齢化率(%)
秋田県	981	357	36.4
高知県	706	245	34.8
島根県	680	231	34.0
山口県	1,370	465	33.9
徳島県	736	243	33.1
山形県	1,090	358	32.9
和歌山県	935	306	32.7
青森県	1,263	412	32.6
愛媛県	1,352	441	32.6
岩手県	1,241	403	32.5
大分県	1,144	371	32.4
富山県	1,050	336	32.0
長崎県	1,341	429	32.0
新潟県	2,246	716	31.9
宮崎県	1,081	342	31.7
鳥取県	560	177	31.6
長野県	2,063	651	31.5
香川県	962	303	31.5
鹿児島県	1,614	506	31.4
北海道	5,286	1,656	31.3
福島県	1,864	576	30.9
奈良県	1,339	413	30.9
熊本県	1,757	537	30.6
山梨県	817	248	30.3
福井県	774	234	30.2
岡山県	1,898	571	30.1
岐阜県	1,997	595	29.8
佐賀県	819	244	29.7
静岡県	3,659	1,081	29.5
三重県	1,791	527	29.4
群馬県	1,952	574	29.4
石川県	1,143	334	29.2
広島県	2,817	817	29.0
茨城県	2,877	833	28.9
京都府	2,591	749	28.9
兵庫県	5,484	1,577	28.8
栃木県	1,946	546	28.0
宮城県	2,316	643	27.8
福岡県	5,107	1,408	27.6
千葉県	6,255	1,721	27.5
大阪府	8,813	2,420	27.5
埼玉県	7,330	1,934	26.4
滋賀県	1,412	363	25.7
神奈川県	9,177	2,305	25.1
愛知県	7,537	1,875	24.9
東京都	13,822	3,189	23.1
沖縄県	1,448	313	21.6

出典：平成 30 年度 総務省人口推計に基づき、本学が作成。

注：高齢化率は、65 歳以上人口（千人）／総人口（千人）にて算出。

注：47 都道府県を高齢化率の高い順に配置。

## ○和歌山県における回復期機能病床の予測

〔平成28年7月1日現在の県内医療機関の状況〕

構想区域	医療機関区分	報告医療機関数	病床数					計
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	
和歌山	病院	40	1,243	2,410	485	1,331	129	5,598
	有床診療所	34		213	56	86	121	476
	計	74	1,243	2,623	541	1,417	250	6,074
那賀	病院	7		477	141	371		989
	有床診療所	7		45	38	38		121
	計	14		522	179	409		1,110
橋本	病院	4	6	481	157	128		772
	有床診療所	5		18	2	57		77
	計	9	6	499	159	185		849
有田	病院	5		270	113	244		627
	有床診療所	5		52		19		71
	計	10		322	113	263		698
御坊	病院	4	8	515	93	261		877
	有床診療所	1		18				18
	計	5	8	533	93	261		895
田辺	病院	8	36	912	122	487		1,557
	有床診療所	9		14	19	46	44	123
	計	17	36	926	141	533	44	1,680
新宮	病院	7		444	95	397	2	938
	有床診療所	7		53	19		38	110
	計	14		497	114	397	40	1,048
県計	病院	75	1,293	5,509	1,206	3,219	131	11,358
	有床診療所	68	0	413	134	246	203	996
	計	143	1,293	5,922	1,340	3,465	334	12,354

出典：「第七次和歌山県保健医療計画」28頁より抜粋・引用。

## 2025年における医療需要及び必要病床数について

構想区域	医療機能	医療需要(人/日)	必要病床数(床)
和歌山圏域	①高度急性期	441	588
	②急性期	1,306	1,674
	③回復期	1,652	1,836
	④慢性期	794	863
	小計	4,193	4,961
	在宅医療等	8,170	
那賀圏域	①高度急性期	36	48
	②急性期	208	267
	③回復期	235	261
	④慢性期	354	385
	小計	833	961
	在宅医療等	1,717	
橋本圏域	①高度急性期	49	65
	②急性期	208	267
	③回復期	294	327
	④慢性期	72	78
	小計	623	737
	在宅医療等	1,113	
有田圏域	①高度急性期	0	0
	②急性期	114	146
	③回復期	133	148
	④慢性期	185	(※) 201
	小計	432	495
	在宅医療等	880	
御坊圏域	①高度急性期	15	20
	②急性期	164	210
	③回復期	172	191
	④慢性期	215	234
	小計	566	655
	在宅医療等	804	
田辺圏域	①高度急性期	90	120
	②急性期	315	404
	③回復期	306	340
	④慢性期	229	249
	小計	940	1,113
	在宅医療等	2,020	
新宮圏域	①高度急性期	33	44
	②急性期	136	174
	③回復期	191	212
	④慢性期	142	154
	小計	502	584
	在宅医療等	1,173	
和歌山県 計	①高度急性期	664	885
	②急性期	2,451	3,142
	③回復期	2,983	3,315
	④慢性期	1,991	2,164
	小計	8,089	9,506
	在宅医療等	15,877	

(注) 有田圏域における慢性期機能に関して、将来において目指すべき目標（必要病床数）としては185床であり、和歌山県内の総必要病床数としては「9,490床」となる。

出典：「第七次和歌山県保健医療計画」29頁より抜粋・引用。

## ○理学療法士数と作業療法士数に係る人口10万人あたり従事者数と

## 従事者数の増加状況

## 【理学療法士数と作業療法士数に係る人口10万人あたり従事者数】

全国／ 和歌山県	理学療法士		作業療法士	
	従事者数	人口10万人対数	従事者数	人口10万人対数
全国	74,235.6	58.5	43,884.1	34.6
和歌山県	740.1	77.6	307.2	32.2

出典：厚生労働省 病院報告に基づき作成。

## 【理学療法士数と作業療法士数の増加状況】

理学療法士／ 作業療法士	全国／ 和歌山県	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
理学療法士	全国	56,851	61,721	66,151	70,492	74,236
	和歌山県	561	603	670	718	740
作業療法士	全国	35,578	37,451	39,786	41,376	43,884
	和歌山県	263	280	285	285	307

出典：厚生労働省 病院報告に基づき作成。

① 全国の高等学校卒業者の進学者数・進学率推移：  
文部科学省平成 29～令和元年度学校基本調査より

全国	卒業者	大学(学部)進学者	専門学校進学者
平成 29 年 3 月	1,074,655 人	532,558 人 (49.6%)	173,939 人 (16.2%)
平成 30 年 3 月	1,061,565 人	527,996 人 (49.7%)	169,058 人 (15.9%)
平成 31 年 3 月	1,055,807 人	527,457 人 (50.0%)	172,339 人 (16.3%)

※ ( ) 内は、高等学校卒業者数に占める割合。

②保健関係学科入学者推移表

分野	大学区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
保健系(医学・歯学・薬学除く)	大学全体	44,363	44,759	46,328	47,798	49,865
	私立大学	34,764	34,988	36,632	37,975	39,805

※文部科学省 学校基本調査(関係学科別入学者数)保健系分野を年度毎に抜粋【単位は人】

③私立大学入学志願動向 保健系 【学部系統別の動向(大学過去 5 カ年)】

年度	集計学部数	入学定員 (A)	志願者 (B)	受験者 (C)	合格者 (D)	入学者 (E)	志願倍率 (B/A)	合格率 (D/C)	歩留率 (E/D)	定員充足率(E/A)
平成 27 年	192	28998	170602	163950	61599	31206	5.88	37.57	50.66	107.61
平成 28 年	198	30330	172040	165349	63762	31584	5.67	38.56	49.53	104.13
平成 29 年	209	32850	179961	173270	67108	33560	5.48	38.73	50.01	102.16
平成 30 年	220	34307	185322	177967	69269	34669	5.40	38.92	50.05	101.06
令和元年	237	35861	188548	180995	73835	36159	5.26	40.79	48.97	100.83

出典：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター



○全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学進学率

資料 4 - 3

(単位:%)

順位	都道府県	進学率	順位	都道府県	進学率	順位	都道府県	進学率
—	全国	53.7	16	岡山県	50.1	32	新潟県	43.5
1	東京都	73.3	17	滋賀県	49.1	33	島根県	43.4
2	京都府	66.4	18	栃木県	48.9	34	熊本県	42.9
3	山梨県	60.7	19	福岡県	48.5	35	長崎県	41.0
4	奈良県	59.2	20	静岡県	48.2	36	佐賀県	40.4
5	大阪府	57.1	21	岐阜県	47.7	37	鳥取県	40.3
6	兵庫県	56.3	22	愛媛県	47.3	38	青森県	39.8
7	神奈川県	55.7	23	徳島県	46.8	39	福島県	39.4
8	広島県	55.5	24	群馬県	46.6	40	秋田県	39.1
9	千葉県	53.6	25	宮城県	46.2	41	大分県	38.9
10	埼玉県	53.4	26	和歌山県	46.0	42	山口県	38.8
11	愛知県	53.2	26	富山県	46.0	43	沖縄県	38.7
12	茨城県	52.4	28	北海道	45.7	44	山形県	38.6
13	石川県	51.1	29	高知県	44.9	45	宮崎県	38.3
14	福井県	51.0	30	長野県	44.3	45	鹿児島県	38.3
15	香川県	50.9	31	三重県	44.0	47	岩手県	38.1

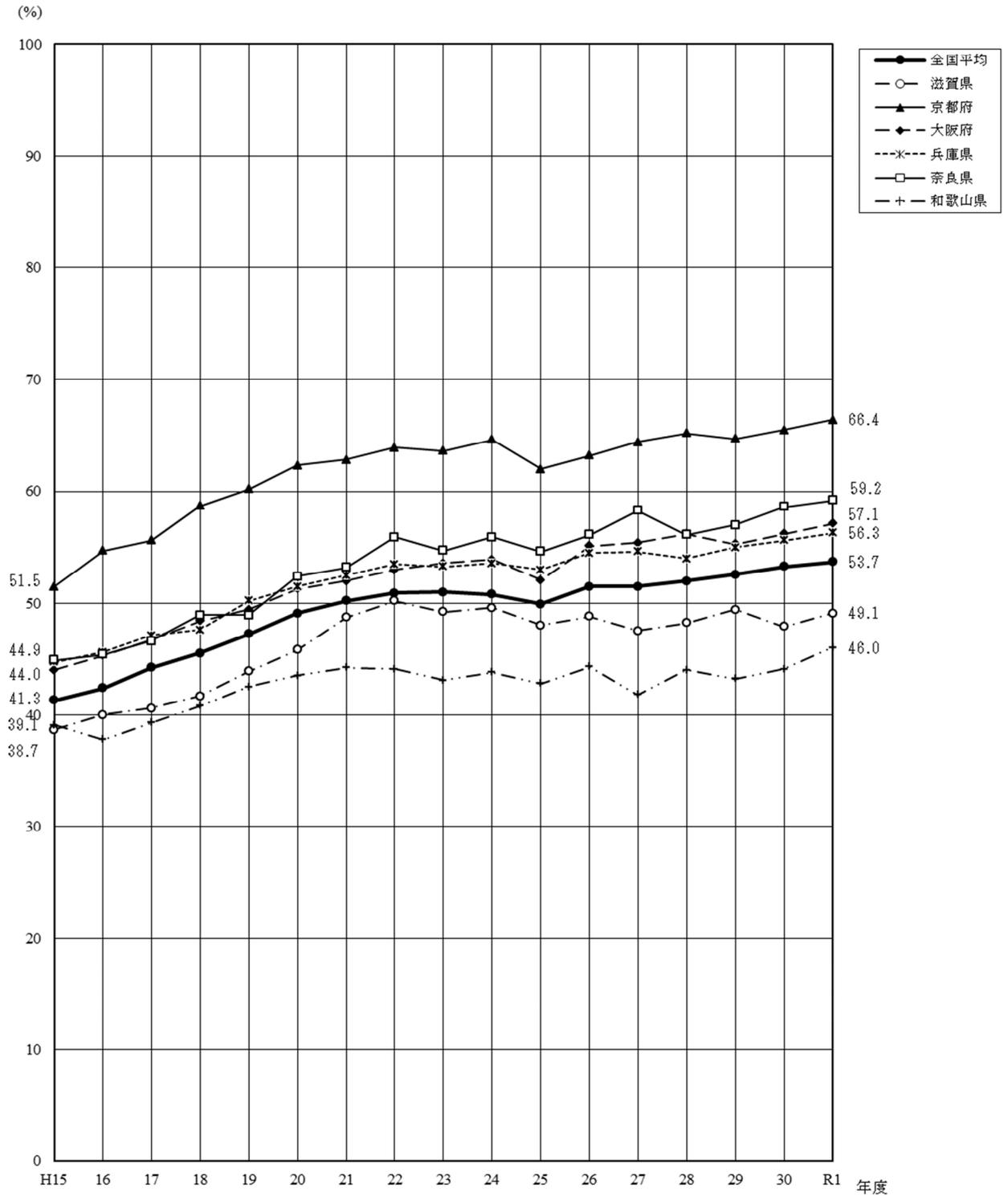
大学進学率(%)=大学進学者数(過年度高卒者を含む)/18歳人口×100

出典：「学校基本調査（令和元年度）」（文部科学省）をもとに作成。

資料 4-4

○近畿地域における大学進学率の経年推移

図表 近畿地域の大学進学率



大学進学率(%)=大学進学者数(過年度高卒者を含む)/18歳人口×100

資料:「学校基本調査報告書」(文部科学省)

## ○全国 47 都道府県に見る和歌山県の大学残留率

(単位：%)

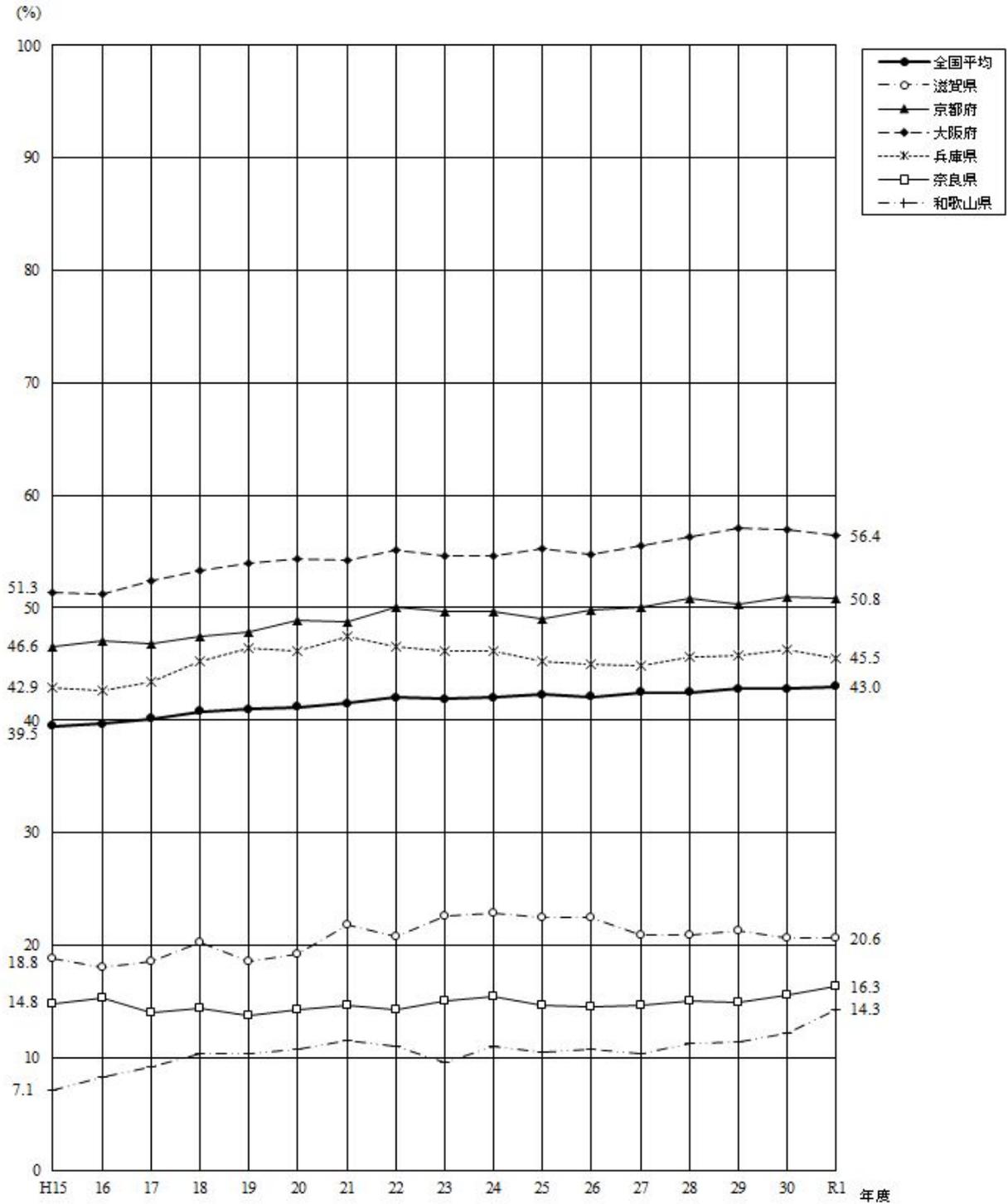
順位	都道府県	残留率	順位	都道府県	残留率	順位	都道府県	残留率
—	全国	43.0	16	青森県	38.0	32	栃木県	24.4
1	愛知県	70.7	17	新潟県	37.8	33	高知県	24.2
2	北海道	67.6	18	長崎県	36.2	34	山形県	22.7
3	福岡県	65.9	19	千葉県	34.4	35	三重県	22.2
4	東京都	65.8	20	鹿児島県	33.6	36	岐阜県	21.5
5	宮城県	58.1	21	群馬県	31.7	37	茨城県	21.4
6	大阪府	56.4	22	埼玉県	31.0	38	富山県	20.9
7	広島県	52.7	23	愛媛県	30.9	39	滋賀県	20.6
8	沖縄県	51.2	24	福井県	30.3	40	福島県	20.0
9	京都府	50.8	25	静岡県	29.2	41	長野県	18.3
10	石川県	48.2	26	岩手県	27.5	42	香川県	17.7
10	熊本県	48.2	27	山梨県	26.6	43	奈良県	16.3
12	兵庫県	45.5	28	宮崎県	26.3	43	佐賀県	16.3
13	岡山県	44.5	29	大分県	26.1	45	島根県	15.7
14	徳島県	39.1	30	山口県	25.4	46	和歌山県	14.3
15	神奈川県	39.0	31	秋田県	25.3	47	鳥取県	13.1

大学残留率 (%) = 当該地域所在の高校から当該地域所在の大学への進学者数 (過年度高卒者を含む)  
 / 当該地域所在の高校からの大学進学者数 (過年度高卒者を含む) × 100

出典：「学校基本調査 (令和元年度)」(文部科学省) をもとに作成。

○近畿地域における大学残留率の経年推移

図表 近畿地域の大学残留率



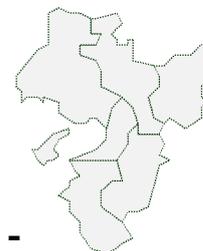
大学残留率(%) = 当該地域所在の高校から当該地域所在の大学への進学者数(過年度高卒者を含む) / 当該地域所在の高校からの大学進学者数(過年度高卒者を含む) × 100

資料: 「学校基本調査報告書」(文部科学省)

# 18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

## 近畿版

- 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県 -



### 【将来予測 2019～2031年（男女別：2019～2030年）】

#### ▶18歳人口予測 P2～P4

- ・2019年197,547人→2031年168,568人（28,979人減少）
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2019年比較22.3%）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2019年83,004人→2031年70,320人、12,684人減少）。

### 【経過推移 2009～2018年（地元残留率：2010～2019年）】

#### ▶進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

##### 進学者数

- ・大学は、2009年87,963人→2018年96,866人（8,903人増加）と、10.1%増加。
- ・短期大学は、2009年12,538人→2018年9,124人（3,414人減少）と、27.2%減少。
- ・専門学校は、2009年21,457人→2018年25,709人（4,252人増加）と、19.8%増加。

##### 進学率

- ・大学は、2009年51.9%→2018年54.3%（2.4ポイント上昇）
- ・短期大学は、2009年7.4%→2018年5.1%（2.3ポイント低下）
- ・専門学校は、2009年12.7%→2018年14.4%（1.7ポイント上昇）

#### ▶地元残留率の推移 P11～P13

- ・大学は、2010年44.8%→2019年46.0%（1.2ポイント上昇）
- ・短期大学は、2010年64.6%→2019年67.4%（2.8ポイント上昇）

#### ▶近畿エリア概要(全体：府県別) P14～16

#### ■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
  - ・ 18歳人口=3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
  - ・ 中学校卒業生数=高校生+フリーター+就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 進学率(現役)とは、進学者数(大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内(地元)の大学・短期大学入学者のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)。
- ⑥ 図表で利用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ 各分析の該当期間については、速報段階では数値が公表されないものもあるため、分析によっては期間(年)が一致しない場合がある。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/>

# 18歳人口予測（全体：近畿：2019～2031年）

## ■ 2019年197,547人→2031年168,568人（28,979人減少）

- ・近畿エリアは13年間で28,979人・14.7%減少し、全国の減少率12.0%を2.7ポイント上回る。
- ・2024年に175,417人まで減少し、2026年までに4,219人増加するが、その後再び減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、和歌山県（2019年比較22.3%）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2019年83,004人→2031年70,320人、12,684人減少）。



※データ元：2019～2021年＝平成28～30年度（2016～2018年度） 学校基本調査 確報値／2022～2031年＝令和元年度（2019年度） 学校基本調査 速報値

## 近畿エリア概要（全体：県別）

### 奈良県



**学校数** ※学校数：2019年度（令和元年度）

大学 : 11 (国立 3・公立 2・私立 6)  
 短期大学 : 4 (私立 4)  
 専門学校 : 29 (公立 3・私立 26)

**卒業生数**

2009年12,281人→2018年12,158人 (123人減少)

**進学者数**

大学 : 2009年6,277人→2018年6,453人 (176人増加)  
 短期大学 : 2009年 915人→2018年 573人 (342人減少)  
 専門学校 : 2009年1,430人→2018年1,698人 (268人増加)

**進学率**

大学 : 2009年51.1%→2018年53.1% (2.0ポイント上昇)  
 短期大学 : 2009年 7.5%→2018年 4.7% (2.8ポイント低下)  
 専門学校 : 2009年11.6%→2018年14.0% (2.4ポイント上昇)

**残留率**

大学 : 2010年14.3%→2019年16.3% (2.0ポイント上昇)  
 短期大学 : 2010年31.6%→2019年34.0% (2.4ポイント上昇)

**入学者流入元** ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (1,643人)、2位京都 (443人)、3位兵庫 (303人)  
 短期大学 : 1位大阪 (139人)、2位京都 (23人)、3位三重 (22人)

**入学者流出先**

大学 : 1位大阪 (3,019人)、2位京都 (1,504人)、3位兵庫 (595人)  
 短期大学 : 1位大阪 (254人)、2位兵庫 (61人)、3位京都 (56人)

### 和歌山県



**学校数** ※学校数：2019年度（令和元年度）

大学 : 4 (国立 1・公立 1・私立 2)  
 短期大学 : 1 (私立 1)  
 専門学校 : 20 (公立 6・私立 14)

**卒業生数**

2009年9,754人→2018年8,793人 (961人減少)

**進学者数**

大学 : 2009年4,248人→2018年3,705人 (543人減少)  
 短期大学 : 2009年 645人→2018年 461人 (184人減少)  
 専門学校 : 2009年1,569人→2018年1,580人 (11人増加)

**進学率**

大学 : 2009年43.6%→2018年42.1% (1.5ポイント低下)  
 短期大学 : 2009年 6.6%→2018年 5.2% (1.4ポイント低下)  
 専門学校 : 2009年16.1%→2018年18.0% (1.9ポイント上昇)

**残留率**

大学 : 2010年11.0%→2019年14.3% (3.3ポイント上昇)  
 短期大学 : 2010年24.8%→2019年43.0% (18.2ポイント上昇)

**入学者流入元** ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (773人)、2位兵庫 (85人)、3位奈良 (61人)  
 短期大学 : 1位大阪 (4人)、2位沖縄 (1人)

**入学者流出先**

大学 : 1位大阪 (1,770人)、2位京都 (402人)、3位兵庫 (349人)  
 短期大学 : 1位大阪 (159人)、2位兵庫 (30人)、3位京都 (19人)

- ①学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地、専門学校＝専修学校専門課程  
 ②卒業生数 : 高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)  
 ③進学率 : 進学者数(大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校))÷高等学校卒業生数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)  
 ④残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合(浪人含)  
 ⑤流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外の高校出身者の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)  
 ⑥流出 : 自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

(1)本学院の入学者数と和歌山県出身者数・割合

	入学者	うち和歌山県出身者	割合
合計	112 人	111 人	99.1 %
平成 29 年 3 月	24 人	24 人	100.0%
平成 30 年 3 月	40 人	39 人	97.5%
平成 31 年 3 月	48 人	48 人	100.0 %

(2)県内高校生の理学療法士養成校への進学状況推移(令和2年3月 県調べ)

	3年制専門	4年制専門	私立大学	国公立大学	計
平成24年3月	21	42	62	2	127
平成25年3月	27	35	60	2	124
平成26年3月	26	40	66	4	136
平成27年3月	24	42	73	3	142
平成28年3月	26	30	53	3	112
平成29年3月	32	23	59	3	117
平成30年3月	32	35	54	3	124
平成31年3月	28	45	68	7	148
平均	27	37	62	3	129

県内高校生の作業療法士養成校への進学状況推移(令和2年3月 県調べ)

	3年制専門	4年制専門	私立大学	国公立大学	計
平成24年3月	10	9	11	2	32
平成25年3月	11	5	16	2	34
平成26年3月	9	5	31	4	49
平成27年3月	8	10	21	3	42
平成28年3月	25	1	23	4	53
平成29年3月	18	0	28	2	48
平成30年3月	10	2	35	4	51
平成31年3月	15	2	44	3	64
平均	14	5	26	3	47

(3)出身高校の所在地県別大学入学者数：文部科学省

平成 27～令和元年度学校基本調査より

	和歌山県の大学入学者数	うち和歌山県の高校出身者	割合
平成 27 年 3 月	4,280 人	447 人	10.4 %
平成 28 年 3 月	4,373 人	490 人	11.2 %
平成 29 年 3 月	4,324 人	492 人	11.4 %
平成 30 年 3 月	4,272 人	522 人	12.2 %
平成 31 年 3 月	4,232 人	605 人	14.3 %

過去3年間の和歌山エリアにおける，高等学校卒業者の進学者数と進学率は以下の通り。

(4)和歌山県内の高等学校卒業者の進学者数・進学率推移：

文部科学省平成 29～令和元年度学校基本調査より

	高等学校卒業生数	大学等進学者数	大学（学部）進学者数	専修学校（専門課程）進学者数
平成 29 年 3 月	8,986 人	4,388 人	3,819 人 (42.5 %)	2,034 人 (22.6 %)
平成 30 年 3 月	8,793 人	4,201 人	3,705 人 (42.1 %)	2,071 人 (23.6 %)
平成 31 年 3 月	8,715 人	4,232 人	3,779 人 (43.4 %)	2,001 人 (23.0 %)

※（）内は，高等学校卒業生数に占める割合。

全国的な傾向と同様に，大学への進学率が増加し，専修学校（専門課程）への進学率は，横ばい状態となっている。なお，大学進学率を全国【大学(学部)進学率は53.7%と過去最高】と比較すると10%ほど低く，和歌山県の大学進学率は今後も増加することが期待できる。

# 資料 6

令和元年度理学療法士養成校私立大学（88校）の定員数：

日本理学療法士協会ホームページより

定員数 (人)	30	35	40	45	50	56	60	66	70	76	80	85	90	100	120
学校数 (校)	1	1	28	1	2	1	15	1	5	1	26	1	1	2	2
割合 (%)	1.1	1.1	31.8	1.1	2.3	1.1	17.0	1.1	5.7	1.1	29.5	1.1	1.1	2.3	2.3

令和元年度作業療法士養成校私立大学（64校）の定員数：

日本作業療法士協会ホームページより

定員数 (人)	30	35	40	45	50	54	60	80
学校数 (校)	6	1	46	1	2	1	5	2
割合 (%)	9.4	1.6	71.9	1.6	3.1	1.6	7.8	3.1

本学過去 5 年間の入試関連状況

理学療法学科	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	40 人				
志願者数	66 人	35 人	29 人	43 人	55 人
志願倍率	1.65 倍	0.88 倍	0.73 倍	1.08 倍	1.38 倍

※いずれも、全入試方法を合計したもの。

なお、令和 3 年度の専門職大学新設後、本学は以下の定員を予定している。

令和 2 年度 募集人員		令和 3 年度 募集人員	
理学療法学科	40 人	理学療法学専攻	40 人
		作業療法学専攻	40 人
合計	40 人	合計	80 人

1. 大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科  
(大阪府貝塚市水間) 単位：人 (以下同じ)

理学療法学専攻	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	60	60	60
志願者数	212	169	172
合格者数	125	122	115
入学者数	65	61	67
志願倍率	1.69 倍	1.38 倍	1.49 倍

作業療法専攻	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	60	60	60
志願者数	105	83	94
合格者数	90	67	59
入学者数	45	41	43
志願倍率	1.16 倍	1.23 倍	1.59 倍

2. 関西医療大学人保健医療学部 (大阪府泉南郡熊取町) ※作業療法学科は平成 30 年増設

理学療法学科	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	60	60	60
志願者数	381	336	341
合格者数	78	78	86
入学者数	63	64	65
志願倍率	4.88 倍	4.30 倍	3.96 倍

作業療法学科	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	—	40	40
志願者数	—	110	142
合格者数	—	87	86
入学者数	—	39	46
志願倍率	—	1.26 倍	1.65 倍

3. 大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科（大阪市北区天満）

理学療法学専攻	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	70	70	70
志願者数	195	219	232
合格者数	110	97	102
入学者数	71	75	74
志願倍率	1.77 倍	2.26 倍	2.27 倍

作業療法学専攻	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
募集人員	30	30	30
志願者数	75	42	103
合格者数	44	30	49
入学者数	19	22	37
志願倍率	1.70 倍	1.40 倍	2.10 倍

学校法人響和会における和歌山リハビリテーション専門職大学の設置  
に係る高校生アンケート調査結果報告書

令和2年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

# 目 次

1. アンケート調査の概要.....	1
1. 1. 調査目的.....	1
1. 2. 調査対象.....	1
1. 3. 実施時期.....	1
1. 4. 調査票回収状況.....	1
1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧.....	2
2. 調査結果要旨.....	4
3. アンケート調査結果.....	5
3. 1. 単純集計.....	5
3. 2. クロス集計.....	14
3. 3. 自由回答.....	18
4. アンケート調査票.....	23

## **1. アンケート調査の概要**

### **1. 1. 調査目的**

学校法人響和会が令和3年4月に開設を予定している和歌山リハビリテーション専門職大学に関して、高校生が期待する教育内容、進学意向等を的確に把握することを調査目的とする。

### **1. 2. 調査対象**

和歌山県と大阪府に所在する高等学校合計75校に在籍する高校生2年生を対象に、アンケート調査を実施した。アンケート調査の実施に当たっては、学校法人響和会が75校のリストアップを行い、アンケート調査票を送付した。その際には、和歌山県に所在する公立高等学校50校については、学校法人響和会から和歌山県教育委員会を通じて調査協力の依頼を行った。

その後、当研究所が実施高等学校60校よりアンケート調査票を回収し、集計分析を行った。

### **1. 3. 実施時期**

令和2年1月から3月にかけて調査を実施した。

### **1. 4. 調査票回収状況**

本調査では、高等学校75校に対して合計11,891票のアンケート調査票を送付した。その結果、60校から合計9,195票の有効回答票を回収することができた。有効回答票の回収率は、77.3%であった。

## 1. 5. 調査票発送・回収高等学校一覧

No	府県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
1	和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	210	193	2. 07
2	和歌山県	和歌山県立紀北工業高等学校	150	121	2. 17
3	和歌山県	和歌山県立紀北農芸高等学校	110	60	2. 17
4	和歌山県	和歌山県立笠田高等学校	210	189	2. 10
5	和歌山県	和歌山県立粉河高等学校	250	230	2. 10
6	和歌山県	和歌山県立那賀高等学校	320	301	2. 06
7	和歌山県	和歌山県立貴志川高等学校	160	116	2. 10
8	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校北校舎	290	261	2. 17
9	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校西校舎	170	132	2. 19
10	和歌山県	和歌山県立和歌山高等学校	170	140	2. 17
11	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校	330	306	2. 14
12	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	290	265	2. 17
13	和歌山県	和歌山県立和歌山東高等学校	230	187	2. 14
14	和歌山県	和歌山県立星林高等学校	290	261	2. 14
15	和歌山県	和歌山県立和歌山工業高等学校	380	347	2. 14
16	和歌山県	和歌山県立和歌山商業高等学校	290	264	3. 03
17	和歌山県	和歌山県立海南高等学校海南校舎	210	173	2. 07
18	和歌山県	和歌山県立海南高等学校大成校舎	60	31	2. 21
19	和歌山県	和歌山県立海南高等学校美里分校	10	6	2. 14
20	和歌山県	和歌山県立箕島高等学校	230	195	2. 17
21	和歌山県	和歌山県立有田中央高等学校	110	91	2. 07
22	和歌山県	和歌山県立有田中央高等学校清水分校	10	3	2. 10
23	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校	170	146	2. 07
24	和歌山県	和歌山県立日高高等学校	250	225	2. 14
25	和歌山県	和歌山県立日高高等学校中津分校	30	-	-
26	和歌山県	和歌山県立紀央館高等学校	210	184	2. 19
27	和歌山県	和歌山県立南部高等学校	200	151	2. 17
28	和歌山県	和歌山県立南部高等学校龍神分校	30	12	2. 21
29	和歌山県	和歌山県立田辺高等学校	330	304	2. 17
30	和歌山県	和歌山県立田辺工業高等学校	150	122	2. 14
31	和歌山県	和歌山県立神島高等学校	250	212	2. 17
32	和歌山県	和歌山県立熊野高等学校	210	145	2. 17
33	和歌山県	和歌山県立串本古座高等学校	90	63	2. 17
34	和歌山県	和歌山県立新宮高等学校	210	187	2. 17
35	和歌山県	和歌山県立新翔高等学校	130	112	2. 10
36	和歌山県	和歌山市立和歌山高等学校	270	219	2. 07
37	和歌山県	海南市立海南下津高等学校	40	25	2. 25
38	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	280	248	2. 06
39	和歌山県	近畿大学附属和歌山高等学校	370	350	2. 06
40	和歌山県	開智高等学校	310	292	2. 06
41	和歌山県	和歌山信愛高等学校	250	209	2. 07
42	和歌山県	近畿大学附属新宮高等学校	140	124	2. 12

No	県	高等学校名	調査票 発送枚数	調査票 回収枚数	回収日
43	和歌山県	高野山高等学校	40	-	-
44	和歌山県	初芝橋本高等学校	170	148	2.17
45	和歌山県	和歌山南陵高等学校	50	-	-
46	和歌山県	和歌山県立伊都中央高等学校定時制	40	-	-
47	和歌山県	和歌山県立伊都中央高等学校通信制	100	-	-
48	和歌山県	和歌山県立粉河高等学校定時制	10	4	2.10
49	和歌山県	和歌山県立和歌山工業高等学校定時制	20	8	2.21
50	和歌山県	和歌山県立海南高等学校定時制	10	-	-
51	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校定時制	10	9	2.19
52	和歌山県	和歌山県立日高高等学校定時制	20	5	2.21
53	和歌山県	和歌山県立南紀高等学校定時制	30	-	-
54	和歌山県	和歌山県立南紀高等学校通信制	50	19	2.17
55	和歌山県	和歌山県立新宮高等学校定時制	20	8	2.17
56	和歌山県	和歌山市立和歌山高等学校定時制	21	21	2.10
57	和歌山県	和歌山県立きのくに青雲高等学校 通信制	130	-	-
58	和歌山県	和歌山県立きのくに青雲高等学校 定時制	80	37	2.12
59	和歌山県	慶風高等学校	50	50	2.19
60	大阪府	大阪府立久米田高等学校	60	45	2.10
61	大阪府	大阪府立佐野高等学校	370	345	2.06
62	大阪府	大阪府立日根野高等学校	250	-	-
63	大阪府	岸和田市立産業高等学校	290	261	2.21
64	大阪府	大阪府立貝塚高等学校	290	-	-
65	大阪府	大阪府立りんくう翔南高等学校	-	-	-
66	大阪府	大阪体育大学浪商高等学校	260	218	2.06
67	大阪府	大阪府立泉大津高等学校	-	-	-
68	大阪府	大阪府立貝塚南高等学校	-	-	-
69	大阪府	大阪府立泉鳥取高等学校	300	185	2.07
70	大阪府	大阪府立岬高等学校	50	23	2.17
71	大阪府	大阪府立和泉高等学校	-	-	-
72	大阪府	大阪府立信太高等学校	300	260	2.17
73	大阪府	大阪府立伯太高等学校	10	-	-
74	大阪府	大阪府立和泉総合高等学校	210	126	2.21
75	大阪府	近畿大学泉州高等学校	250	221	2.06
合 計			11891	9195	60 校

## 2. 調査結果要旨

### (性別：問1)

○回答者のうち、50.9%が「男性」、49.1%が「女性」である。

### (居住地：問2)

○回答者の39.9%が「和歌山市と田辺市以外の和歌山県の市町村」に居住し、以下、「和歌山県和歌山市」(30.4%)、「岸和田市・泉佐野市・貝塚市以外の大阪府の市町村」(12.1%)、と続いている。

### (高校卒業後の希望進路：問3)

○回答者の52.5%が「大学進学」を希望している。次いで回答者の21.3%が「就職」を希望している。

### (進学希望分野：問4)

○第1希望に関しては、「商学・経済学・経営学関係」が13.1%と最も多く、「理工学関係」が11.8%、「看護学関係」が10.8%、と続いている。  
○第2希望に関しては、「教育学・保育学関係」が10.2%と最も多く、「その他」が9.4%、「商学・経済学・経営学関係」が9.1%、と続いている。

### (進学先決定時に重視する事項：問5〔複数回答〕)

○「学部・学科の専攻分野」が40.7%と最も多かった。

### (和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと：問6〔複数回答〕)

○「新しい専門職大学に魅力を感じる」が31.4%と最も多かった。

### (和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望：問7)

○「進学を希望する」が255人(3.7%)、「進学先の候補の1つとして考える」が461人(6.8%)、「進学を希望しない」が4,261人(62.6%)、「わからない」が1,827人(26.9%)、となった。

和歌山リハビリテーション専門職大学の入学定員合計は80名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の3.19倍の実数が得られた。

### (進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻：問8)

○「作業療法学専攻」が260人(37.1%)、「理学療法学専攻」が441人(62.9%)、となった。

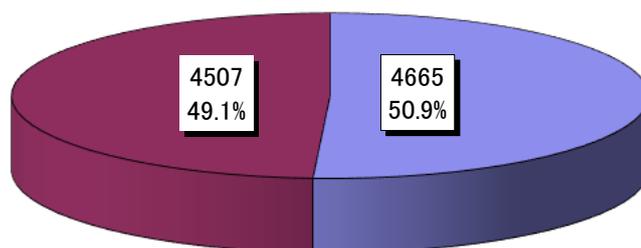
### 3. アンケート調査結果

#### 3. 1. 単純集計

##### 問1：性別

回答者の性別については、「男性」が4,665人(50.9%)であり、他方で「女性」が4,507人(49.1%)となった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	男性	4665	50.7	50.9
2	女性	4507	49.0	49.1
	不明	23	0.3	
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0

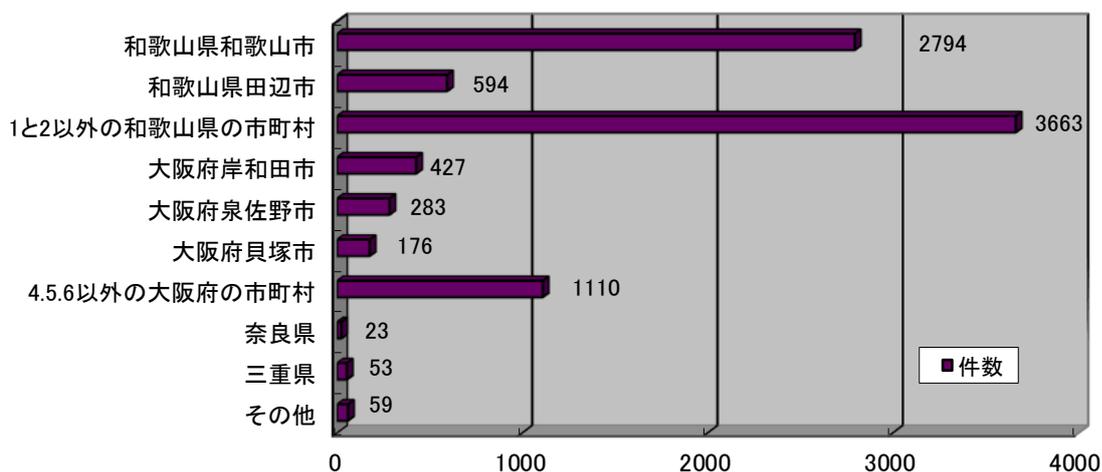


## 問2：居住地

回答者の「居住地」については、「1（和歌山市）と2（田辺市）以外の和歌山県の市町村」が3,663人（39.9%）と最も多く、次いで「和歌山県和歌山市」が2,794人（30.4%）、「4（岸和田市）・5（泉佐野市）・6（貝塚市）以外の大阪府の市町村」が1,110人（12.1%）、「和歌山県田辺市」が594人（6.5%）、「大阪府岸和田市」が427人（4.7%）、と続いている。

回答者の「居住地」については、「1（和歌山市）と2（田辺市）以外の和歌山県の市町村」が、全体の約4割弱を占めている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	和歌山県和歌山市	2794	30.4	30.4
2	和歌山県田辺市	594	6.5	6.5
3	1と2以外の和歌山県の市町村	3663	39.8	39.9
4	大阪府岸和田市	427	4.6	4.7
5	大阪府泉佐野市	283	3.1	3.1
6	大阪府貝塚市	176	1.9	1.9
7	4.5.6以外の大阪府の市町村	1110	12.1	12.1
8	奈良県	23	0.3	0.3
9	三重県	53	0.6	0.6
10	その他	59	0.6	0.6
	不明	13	0.1	
	サンプル数（%ベース）	9195	100.0	100.0

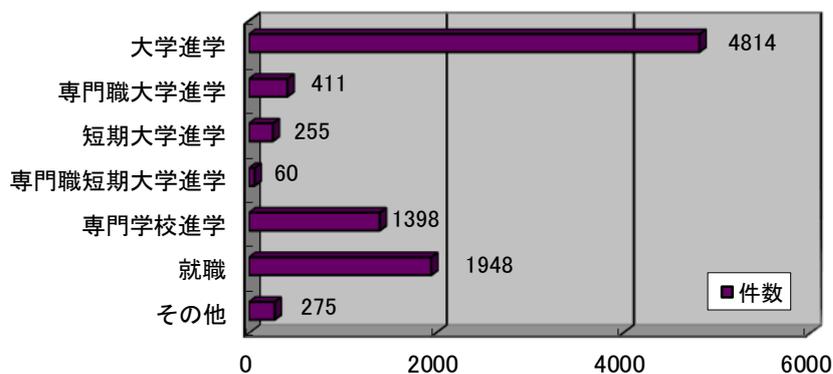


### 問3：高校卒業後の希望進路

回答者の「高校卒業後の希望進路」については、「大学進学」が4,814人(52.5%)と最も多く、次いで「就職」が1,948人(21.3%)、「専門学校進学」が1,398人(15.3%)、「専門職大学進学」が411人(4.5%)、「短期大学進学」が255人(2.8%)、「専門職短期大学進学」が60人(0.7%)の順となった。

回答者の約半数強が「大学進学」を希望していることがわかった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	大学進学	4814	52.4	52.5
2	専門職大学進学	411	4.5	4.5
3	短期大学進学	255	2.8	2.8
4	専門職短期大学進学	60	0.7	0.7
5	専門学校進学	1398	15.2	15.3
6	就職	1948	21.2	21.3
7	その他	275	3.0	3.0
	不明	34	0.4	
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0

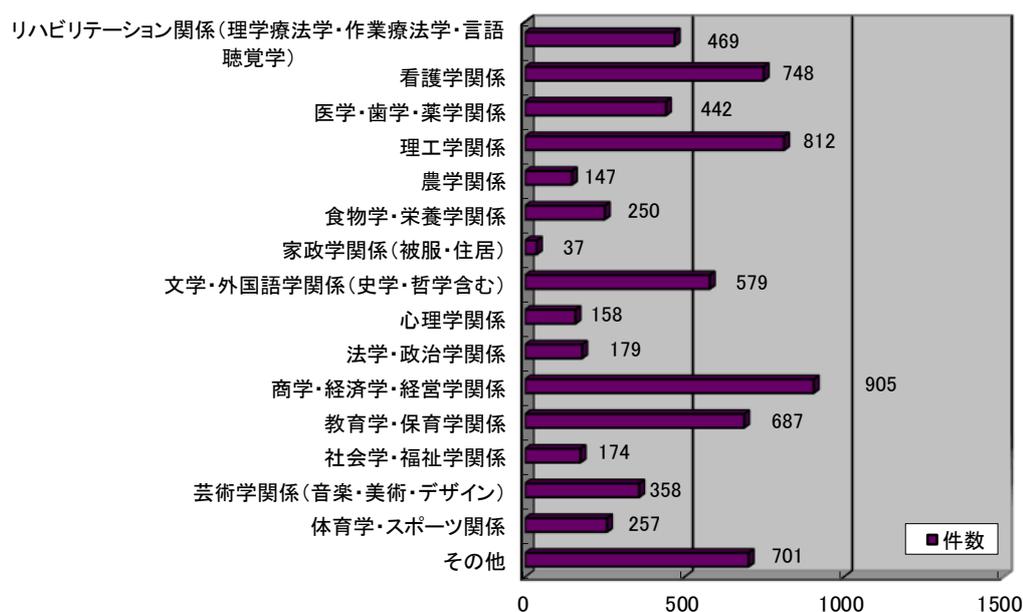


#### 問 4-1：進学希望分野（第1希望）

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第1希望に関しては、「商学・経済学・経営学関係」が905人（13.1%）と最も多く、次いで「理工学関係」が812人（11.8%）、「看護学関係」が748人（10.8%）、「その他」が701人（10.2%）、「教育学・保育学関係」が687人（10.0%）、と続いている。

第1希望では、「商学・経済学・経営学関係」に関する進学意向が最も強かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	リハビリテーション関係（理学療法・作業療法・言語聴覚学）	469	5.1	6.8	6.8
2	看護学関係	748	8.1	10.8	10.8
3	医学・歯学・薬学関係	442	4.8	6.4	6.4
4	理工学関係	812	8.8	11.7	11.8
5	農学関係	147	1.6	2.1	2.1
6	食物学・栄養学関係	250	2.7	3.6	3.6
7	家政学関係（被服・住居）	37	0.4	0.5	0.5
8	文学・外国語学関係（史学・哲学含む）	579	6.3	8.3	8.4
9	心理学関係	158	1.7	2.3	2.3
10	法学・政治学関係	179	1.9	2.6	2.6
11	商学・経済学・経営学関係	905	9.8	13.0	13.1
12	教育学・保育学関係	687	7.5	9.9	10.0
13	社会学・福祉学関係	174	1.9	2.5	2.5
14	芸術学関係（音楽・美術・デザイン）	358	3.9	5.2	5.2
15	体育学・スポーツ関係	257	2.8	3.7	3.7
16	その他	701	7.6	10.1	10.2
	不明	35	0.4	0.5	
	非該当	2257	24.5		
	サンプル数（%ベース）	9195	100.0	100.0	100.0

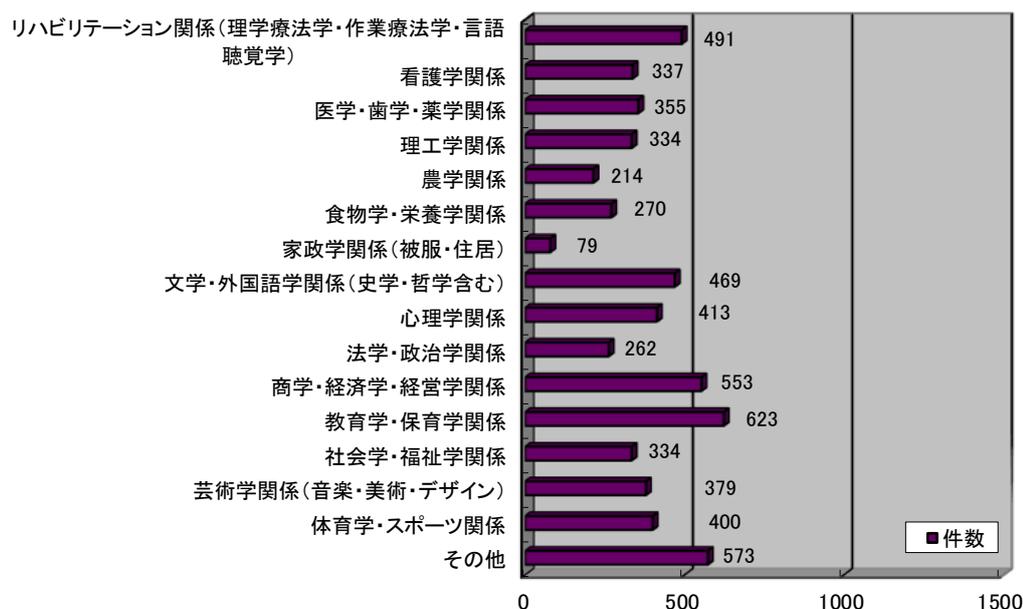


#### 問 4-2 : 進学希望分野 (第 2 希望)

回答者に「進学希望分野」について伺ったところ、第 2 希望に関しては、「教育学・保育学関係」が 623 人 (10.2%) と最も多く、次いで「その他」が 573 人 (9.4%)、「商学・経済学・経営学関係」が 553 人 (9.1%)、「リハビリテーション関係 (理学療法学・作業療法学・言語聴覚学)」が 491 人 (8.1%)、「文学・外国語学関係 (史学・哲学含む)」が 469 人 (7.7%) と続いている。

第 2 希望においては、「教育学・保育学関係」に関する進学意向が最も強かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	リハビリテーション関係 (理学療法学・作業療法学・言語聴覚学)	491	5.3	7.1	8.1
2	看護学関係	337	3.7	4.9	5.5
3	医学・歯学・薬学関係	355	3.9	5.1	5.8
4	理工学関係	334	3.6	4.8	5.5
5	農学関係	214	2.3	3.1	3.5
6	食物学・栄養学関係	270	2.9	3.9	4.4
7	家政学関係 (被服・住居)	79	0.9	1.1	1.3
8	文学・外国語学関係 (史学・哲学含む)	469	5.1	6.8	7.7
9	心理学関係	413	4.5	6.0	6.8
10	法学・政治学関係	262	2.8	3.8	4.3
11	商学・経済学・経営学関係	553	6.0	8.0	9.1
12	教育学・保育学関係	623	6.8	9.0	10.2
13	社会学・福祉学関係	334	3.6	4.8	5.5
14	芸術学関係 (音楽・美術・デザイン)	379	4.1	5.5	6.2
15	体育学・スポーツ関係	400	4.4	5.8	6.6
16	その他	573	6.2	8.3	9.4
	不明	852	9.3	12.3	
	非該当	2257	24.5		
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0	100.0

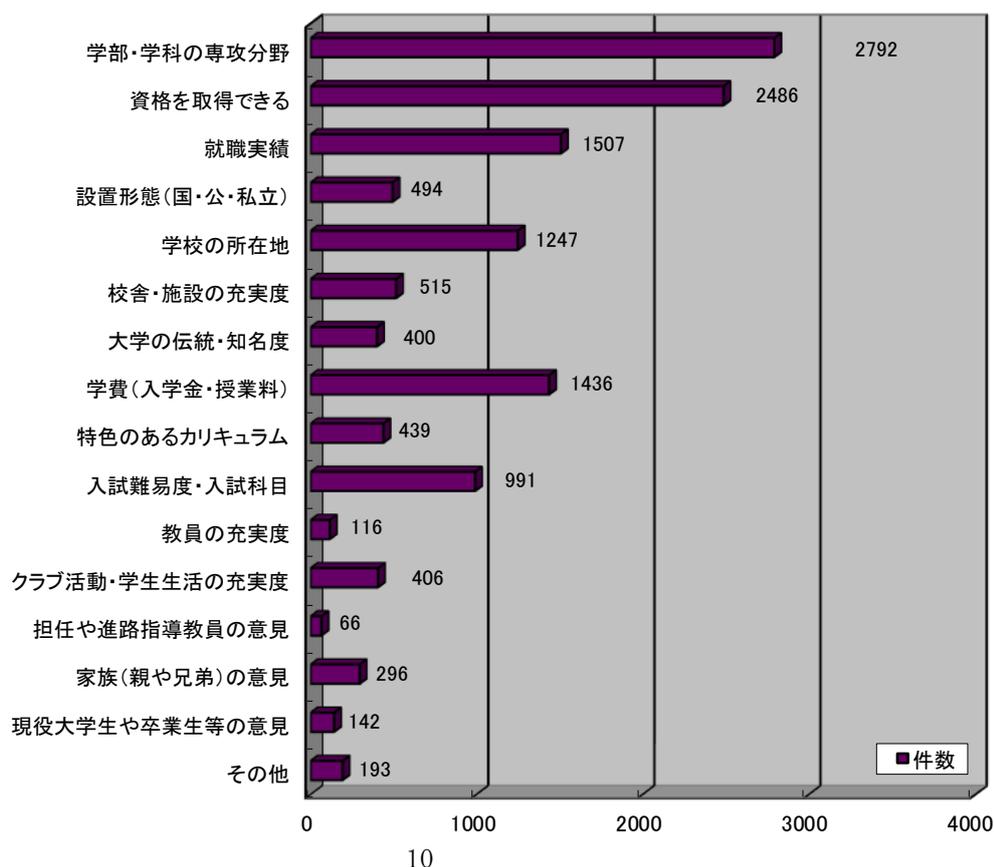


### 問5：進学先決定時に重視する事項〔複数回答〕

回答者に「進学先決定時に重視する事項」について伺ったところ、「学部・学科の専攻分野」が2,792人(40.7%)と最も多く、次いで「資格を取得できる」が2,486人(36.3%)、「就職実績」が1,507人(22.0%)、「学費(入学金・授業料)」が1,436人(21.0%)、「学校の所在地」が1,247人(18.2%)の順に続いている。

「進学先決定時に重視する事項」については、「学部・学科の専攻分野」が最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	学部・学科の専攻分野	2792	30.4	40.2	40.7
2	資格を取得できる	2486	27.0	35.8	36.3
3	就職実績	1507	16.4	21.7	22.0
4	設置形態(国・公・私立)	494	5.4	7.1	7.2
5	学校の所在地	1247	13.6	18.0	18.2
6	校舎・施設の充実度	515	5.6	7.4	7.5
7	大学の伝統・知名度	400	4.4	5.8	5.8
8	学費(入学金・授業料)	1436	15.6	20.7	21.0
9	特色のあるカリキュラム	439	4.8	6.3	6.4
10	入試難易度・入試科目	991	10.8	14.3	14.5
11	教員の充実度	116	1.3	1.7	1.7
12	クラブ活動・学生生活の充実度	406	4.4	5.9	5.9
13	担任や進路指導教員の意見	66	0.7	1.0	1.0
14	家族(親や兄弟)の意見	296	3.2	4.3	4.3
15	現役大学生や卒業生等の意見	142	1.5	2.0	2.1
16	その他	193	2.1	2.8	2.8
	不明	84	0.9	1.2	
	非該当	2257	24.5		
	サンプル数(%ベース)	9195	100.0	100.0	100.0

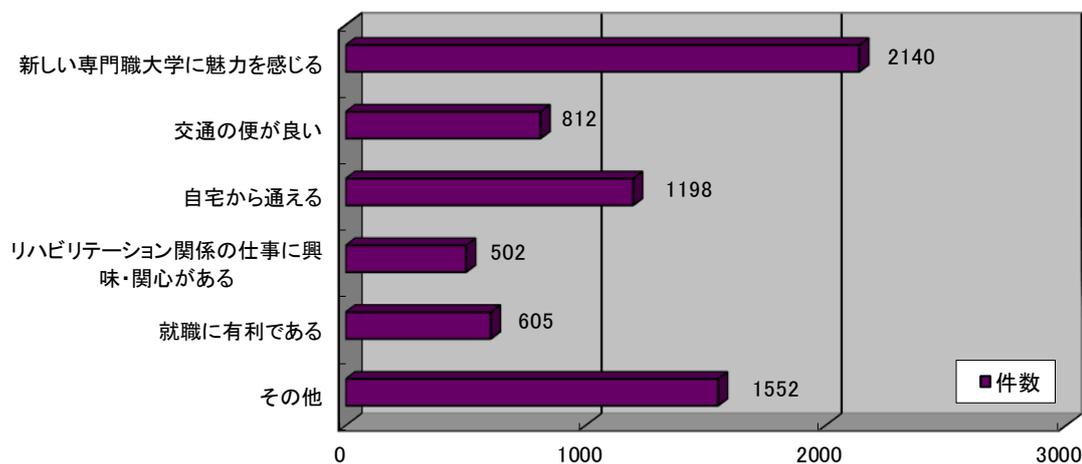


## 問6：和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと

回答者に「和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと」を伺ったところ、「新しい専門職大学に魅力を感じる」が2,140人(31.4%)と最も多く、次いで「その他」が1,552人(22.8%)、「自宅から通える」が1,198人(17.6%)、「交通の便が良い」が812人(11.9%)、となった。

「和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと」については、「新しい専門職大学に魅力を感じる」が、全体の約3割強を占め、最も多かった。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	新しい専門職大学に魅力を感じる	2140	23.3	30.8	31.4
2	交通の便が良い	812	8.8	11.7	11.9
3	自宅から通える	1198	13.0	17.3	17.6
4	リハビリテーション関係の仕事に興味・関心がある	502	5.5	7.2	7.4
5	就職に有利である	605	6.6	8.7	8.9
6	その他	1552	16.9	22.4	22.8
	不明	129	1.4	1.9	
	非該当	2257	24.5		
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0	100.0

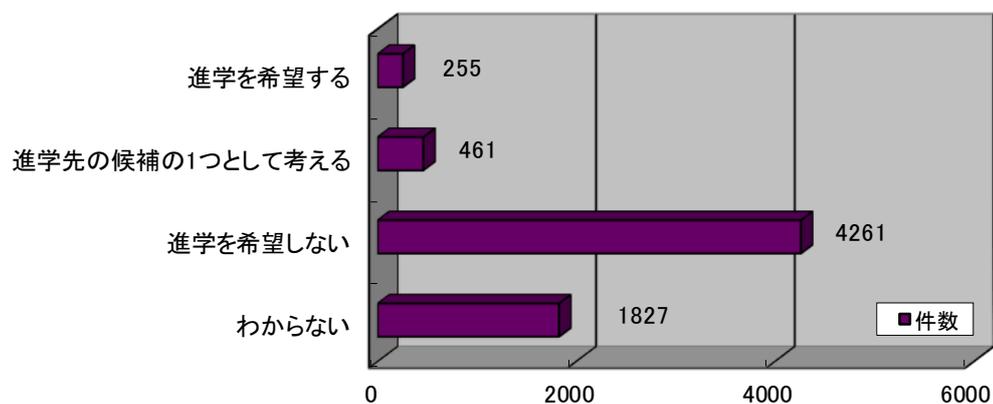


### 問7：和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望

回答者に「和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」について伺ったところ、「進学を希望する」が 255 人 (3.7%)、「進学先の候補の 1 つとして考える」が 461 人 (6.8%)、「進学を希望しない」が 4,261 人 (62.6%)、「わからない」が 1,827 人 (26.9%)、となった。

和歌山リハビリテーション専門職大学の入学定員合計は 80 名であり、「進学を希望する」のみで、入学定員の 3.19 倍の実数が得られた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	進学を希望する	255	2.8	3.7	3.7
2	進学先の候補の1つとして考える	461	5.0	6.6	6.8
3	進学を希望しない	4261	46.3	61.4	62.6
4	わからない	1827	19.9	26.3	26.9
	不明	134	1.5	1.9	
	非該当	2257	24.5		
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0	100.0

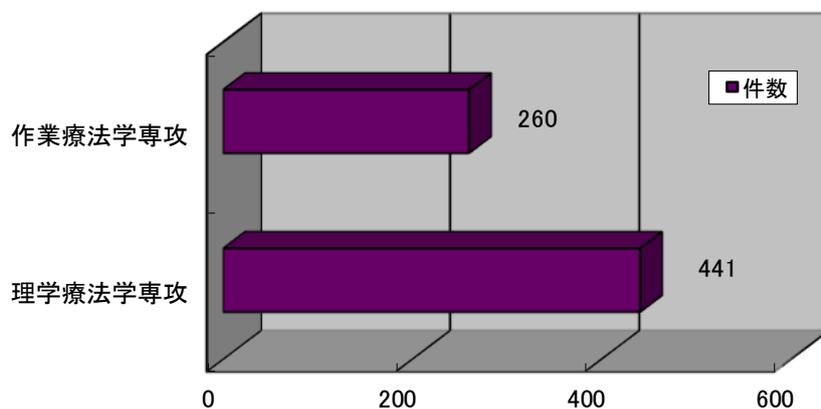


### 問 8 : 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻

回答者に「進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」について伺ったところ、「作業療法学専攻」が 260 人 (37.1%)、「理学療法学専攻」が 441 人 (62.9%)、となった。

回答者の「進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」については、「作業療法学専攻」が全体の約 4 割弱、「理学療法学専攻」が全体の約 6 割強、を占めるに至った。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	作業療法学専攻	260	2.8	36.3	37.1
2	理学療法学専攻	441	4.8	61.6	62.9
	不明	15	0.2	2.1	
	非該当	8479	92.2		
	サンプル数 (%ベース)	9195	100.0	100.0	100.0



### 3. 2. クロス集計

#### 3. 2. 1. 「問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻」と「問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望」のクロス集計

上段:度数 下段:%		問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻			
		合計	作業療法学 専攻	理学療法学 専攻	不明
問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望	全体	716 100.0	260 36.3	441 61.6	15 2.1
	進学を希望する	255 100.0	121 47.5	133 52.2	1 0.4
	進学先の候補の1つとして考える	461 100.0	139 30.2	308 66.8	14 3.0
	進学を希望しない	- -	- -	- -	- -
	わからない	- -	- -	- -	- -
	不明	- -	- -	- -	- -

#### 3. 2. 2. 男女別のクロス集計

##### 問2 居住地 \* 問1 性別

上段:度数 下段:%		問2 居住地								
		合計	和歌山県和歌山市	和歌山県田辺市	1と2以外の和歌山県の市町村	大阪府岸和田市	大阪府泉佐野市	大阪府貝塚市	4.5.6以外の大阪府の市町村	奈良県
問1 性別	全体	9195 100.0	2794 30.4	594 6.5	3663 39.8	427 4.6	283 3.1	176 1.9	1110 12.1	23 0.3
	男性	4665 100.0	1403 30.1	283 6.1	1854 39.7	205 4.4	146 3.1	88 1.9	604 12.9	14 0.3
	女性	4507 100.0	1387 30.8	310 6.9	1802 40.0	221 4.9	137 3.0	88 2.0	504 11.2	9 0.2
	不明	23 100.0	4 17.4	1 4.3	7 30.4	1 4.3	-	-	2 8.7	-

上段:度数 下段:%		問2 居住地		
		三重県	その他	不明
問1 性別	全体	53 0.6	59 0.6	13 0.1
	男性	25 0.5	41 0.9	2 -
	女性	28 0.6	17 0.4	4 0.1
	不明	-	1 4.3	7 30.4

問3 高校卒業後の希望進路 \* 問1 性別

上段:度数 下段:%		問3 高校卒業後の希望進路								
		合計	大学進学	専門職大学 進学	短期大学 進学	専門職短期 大学進学	専門学校 進学	就職	その他	不明
問1 性別	全体	9195 100.0	4814 52.4	411 4.5	255 2.8	60 0.7	1398 15.2	1948 21.2	275 3.0	34 0.4
	男性	4665 100.0	2602 55.8	216 4.6	19 0.4	19 0.4	465 10.0	1180 25.3	150 3.2	14 0.3
	女性	4507 100.0	2203 48.9	195 4.3	236 5.2	41 0.9	929 20.6	767 17.0	123 2.7	13 0.3
	不明	23 100.0	9 39.1	-	-	-	4 17.4	1 4.3	2 8.7	7 30.4

問4 進学希望分野 (第1希望) \* 問1 性別

上段:度数 下段:%		問4 進学希望分野 (第1希望)								
		合計	リハビリ テーション 関係 (理学 療法学・作 業療法学・ 言語聴覚 学)	看護学関係	医学・歯 学・薬学関 係	理工学関係	農学関係	食物学・栄 養学関係	家政学関係 (被服・住 居)	文学・外国 語学関係 (史学・哲 学含む)
問1 性別	全体	6938 100.0	469 6.8	748 10.8	442 6.4	812 11.7	147 2.1	250 3.6	37 0.5	579 8.3
	男性	3321 100.0	290 8.7	90 2.7	179 5.4	676 20.4	85 2.6	44 1.3	11 0.3	171 5.1
	女性	3604 100.0	178 4.9	656 18.2	263 7.3	134 3.7	61 1.7	205 5.7	26 0.7	408 11.3
	不明	13 100.0	1 7.7	2 15.4	-	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-	-

上段:度数 下段:%		問4 進学希望分野 (第1希望)								
		心理学関係	法学・政治 学関係	商学・経済 学・経営学 関係	教育学・保 育学関係	社会学・福 祉学関係	芸術学関係 (音楽・美 術・デザイ ン)	体育学・ス ポーツ関係	その他	不明
問1 性別	全体	158 2.3	179 2.6	905 13.0	687 9.9	174 2.5	358 5.2	257 3.7	701 10.1	35 0.5
	男性	60 1.8	114 3.4	646 19.5	247 7.4	74 2.2	130 3.9	198 6.0	286 8.6	20 0.6
	女性	98 2.7	65 1.8	259 7.2	440 12.2	99 2.7	227 6.3	59 1.6	412 11.4	14 0.4
	不明	-	-	-	-	1 7.7	1 7.7	-	3 23.1	1 7.7

問4 進学希望分野（第2希望） \* 問1 性別

上段:度数		問4 進学希望分野（第2希望）								
下段:%		合計	リハビリテーション関係（理学療法・作業療法・言語聴覚学）	看護学関係	医学・歯学・薬学関係	理工学関係	農学関係	食物学・栄養学関係	家政学関係（被服・住居）	文学・外国語学関係（史学・哲学含む）
問1 性別	全体	6938 100.0	491 7.1	337 4.9	355 5.1	334 4.8	214 3.1	270 3.9	79 1.1	469 6.8
	男性	3321 100.0	199 6.0	112 3.4	130 3.9	228 6.9	147 4.4	66 2.0	18 0.5	181 5.5
	女性	3604 100.0	291 8.1	225 6.2	225 6.2	106 2.9	66 1.8	204 5.7	61 1.7	287 8.0
	不明	13 100.0	1 7.7	-	-	-	1 7.7	-	-	1 7.7

上段:度数		問4 進学希望分野（第2希望）								
下段:%		心理学関係	法学・政治学関係	商学・経済学・経営学関係	教育学・保育学関係	社会学・福祉学関係	芸術学関係（音楽・美術・デザイン）	体育学・スポーツ関係	その他	不明
問1 性別	全体	413 6.0	262 3.8	553 8.0	623 9.0	334 4.8	379 5.5	400 5.8	573 8.3	852 12.3
	男性	160 4.8	194 5.8	327 9.8	297 8.9	150 4.5	153 4.6	268 8.1	303 9.1	388 11.7
	女性	253 7.0	67 1.9	225 6.2	325 9.0	183 5.1	225 6.2	131 3.6	268 7.4	462 12.8
	不明	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4

問5 進学先決定時に重視する事項 \* 問1 性別

上段:度数		問5 進学先決定時に重視する事項								
下段:%		合計	学部・学科の専攻分野	資格を取得できる	就職実績	設置形態（国・公・私立）	学校の所在地	校舎・施設の充実度	大学の伝統・知名度	学費（入学金・授業料）
問1 性別	全体	6938 100.0	2792 40.2	2486 35.8	1507 21.7	494 7.1	1247 18.0	515 7.4	400 5.8	1436 20.7
	男性	3321 100.0	1304 39.3	1068 32.2	750 22.6	253 7.6	554 16.7	264 7.9	258 7.8	598 18.0
	女性	3604 100.0	1483 41.1	1415 39.3	757 21.0	240 6.7	691 19.2	250 6.9	142 3.9	836 23.2
	不明	13 100.0	5 38.5	3 23.1	-	-	1 7.7	2 15.4	1 7.7	2 15.4

上段:度数		問5 進学先決定時に重視する事項								
下段:%		特色のあるカリキュラム	入試難易度・入試科目	教員の充実度	クラブ活動・学生生活の充実度	担任や進路指導教員の意見	家族（親や兄弟）の意見	現役大学生や卒業生等の意見	その他	不明
問1 性別	全体	439 6.3	991 14.3	116 1.7	406 5.9	66 1.0	296 4.3	142 2.0	193 2.8	84 1.2
	男性	202 6.1	515 15.5	74 2.2	265 8.0	36 1.1	120 3.6	56 1.7	120 3.6	51 1.5
	女性	234 6.5	474 13.2	42 1.2	141 3.9	30 0.8	176 4.9	86 2.4	72 2.0	31 0.9
	不明	3 23.1	2 15.4	-	-	-	-	-	1 7.7	2 15.4

問6 和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと \* 問1 性別

上段:度数		問6 和歌山リハビリテーション専門職大学について感じたこと							
下段:%		合計	新しい専門 職大学に魅 力を感じる	交通の便が 良い	自宅から通 える	リハビリ テーション 関係の仕事 に興味・関 心がある	就職に有利 である	その他	不明
問1 性別	全体	6938 100.0	2140 30.8	812 11.7	1198 17.3	502 7.2	605 8.7	1552 22.4	129 1.9
	男性	3321 100.0	1010 30.4	376 11.3	544 16.4	225 6.8	283 8.5	810 24.4	73 2.2
	女性	3604 100.0	1123 31.2	435 12.1	654 18.1	276 7.7	321 8.9	741 20.6	54 1.5
	不明	13 100.0	7 53.8	1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4

問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望 \* 問1 性別

上段:度数		問7 和歌山リハビリテーション専門職大学への進学希望					
下段:%		合計	進学を希望 する	進学先の候 補の1つとし て考える	進学を希望 しない	わからない	不明
問1 性別	全体	6938 100.0	255 3.7	461 6.6	4261 61.4	1827 26.3	134 1.9
	男性	3321 100.0	169 5.1	252 7.6	1930 58.1	897 27.0	73 2.2
	女性	3604 100.0	86 2.4	207 5.7	2325 64.5	927 25.7	59 1.6
	不明	13 100.0	-	2 15.4	6 46.2	3 23.1	2 15.4

問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職大学の専攻 \* 問1 性別

上段:度数		問8 進学を希望する和歌山リハビリテーション専門職 大学の専攻			
下段:%		合計	作業療法学 専攻	理学療法学 専攻	不明
問1 性別	全体	716 100.0	260 36.3	441 61.6	15 2.1
	男性	421 100.0	149 35.4	260 61.8	12 2.9
	女性	293 100.0	110 37.5	180 61.4	3 1.0
	不明	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-

### 3. 3. 自由回答

本調査では問9の設問を自由回答方式とし、回答者に対して和歌山リハビリテーション専門職大学に係る全般的な意見を聞いている。

その結果、集計対象とした全9,195票のうち91票において意見の記述が見られた。この91票の記述内容は次頁～22頁の通りである。

◎自由回答（問9）の記述内容一覧

No	問1 性別	問9 和歌山リハビリテーション専門職大学についての意見
53	男性	オープンキャンパスがあれば行きたいと思います。
171	女性	地元和歌山でこのようなことを学べるのは非常に嬉しいので、出来れば早く開校してもらいたいです。
417	女性	和歌山や和歌山に近い他府県の、この学科を希望する人にとって喜ばしいことだと思った。
420	女性	本当にそこに作る意味ってありますか。他の学校と違って「ここが良い」と自信をもっていえる所は？
447	女性	頑張ってください！
449	男性	学費が高い。
454	女性	これから必要になりそうだから良いと思う。
766	男性	和歌山の県民が和歌山で学べる、和歌山を離れず、資格をとれるシステムは地方創生にとって、とても大事なことだと思います。私自身はリハビリを学ぶことはないですが、応援しております。
1060	女性	臨床検査学に興味があります。
1151	男性	頑張る。
1213	女性	学科が少ない上に、定員も少ない。
1235	男性	専門学校か4年制大学か分かりづらいです。
1242	女性	和歌山医療専門職大学の方が、賢そうで良いと思います。
1248	男性	名前をカッコよく（分りやすく、入りたくなるような）すれば、惹かれるかも。
1332	男性	理学療法にあまり興味がありません。
1348	男性	頑張ってください。
1369	男性	良いと思います。
1385	男性	楽しそうで良い。
1407	男性	家に近い。
1414	男性	学費が高い。
1470	男性	良いと思った。
1504	男性	色んなご高齢の方が増える中、こういう大学は需要があると思います。良い学校になることをお祈りします。
1547	女性	夢と繋がっていない。
1557	男性	家から遠い。
1561	男性	自分にはリハビリテーションは向いていないと思います。
1564	男性	頑張ってください。
1634	男性	将来どのように職につながるか知りたい。
1655	女性	専門職大学より大学に進学したいです。
1685	男性	何をしたら良いか分からない。

No	問1 性別	問9 和歌山リハビリテーション専門職大学についての意見
1693	男性	問6の問題についてよく分からなかった。
1826	男性	頑張って下さい。
1904	男性	頑張って下さい。
1962	男性	名前変えた方が良いですよ。
2084	男性	アスレティックトレーナーの資格も取れるようにしてほしい。
2089	女性	興味なし。
2125	男性	教育学部を入れてください！
2420	男性	頑張って下さい。
2562	男性	行きたいです。
2681	男性	和歌山リハビリテーション専門職大学にもA0入試はありますか？
2777	男性	問6に「7. 興味が無い」を追加すべき。
3146	女性	リハビリ関係に進学したいと思っていない。
3431	男性	良いと思う。
3633	男性	自分の将来がまだ分からないので、決めている途中です。
3735	男性	頑張って生徒を増やしてください。
3737	女性	興味が無い。
3853	男性	まだ決めてない。
3863	男性	まだ悩んでる。
3879	女性	遠い。
3915	男性	頑張って下さい。
3921	男性	新たな試みで良いと思います。
4316	男性	専門学校は良いと思います。
4439	女性	頑張って下さい。
4449	男性	どうでもよい。
4465	男性	マッサージは好き。
4523	男性	歴史関係の大学をつかって欲しい。
4557	男性	リハビリには興味ない。
5062	男性	楽しい、やり甲斐がある、安いのが良い。
5179	女性	就職の人も専門学校に進む人もどちらもが役立つような、どちらにも関係している実施体験があればと思う。

No	問1 性別	問9 和歌山リハビリテーション専門職大学についての意見
5378	女性	専門職大学というのを初めて聞き、知ったので、あまりよく分からず判断できない。
5546	男性	スキーは楽しい。
5673	女性	交通の便や費用などを重視。
5775	男性	頑張ってください。
5828	男性	頑張ります。
5863	女性	看護学部を作ってほしい。
5883	男性	他校との比較では安いだろうけど、それでも高い。行く気にならない。
6008	女性	警察官。
6029	男性	資格を取りたい。
6036	男性	入試はどんな学科かどうか。
6040	男性	将来、理学療法士になりたいので、この学校で資格はとれますか？
6164	男性	和歌山にあるから。
6322	男性	御開設、おめでとうございます。頑張ってください。
6332	女性	頑張ってください。高齢化社会に合った大学だと思います。
6365	男性	福祉の活動に繋がったりして良いと思う。
6406	男性	行きたい学校がもうあるから。
6524	男性	4年制大学に行くから。
6719	女性	和歌山には近大の医用工学部にしか臨床工学士になれる道がないので、専門学部での臨床工学技士科を和歌山県下で設立してほしい。
6732	女性	昨年から興味を持っていましたが、未だに認可申請が通っていないことに不安を覚えています。少しでも早く認可が通ることを願っています。成績優秀者免除とかあれば嬉しいです。
6779	女性	専門職大学という名前の大学を初めて知ったのでとても興味が沸いたが、自分がしたい仕事ではなかったので進学はしない。
7036	女性	学費が安いことはとても良いと思います。
7300	男性	新しくて面白いなと思いました。
7904	男性	家から遠そうだし、あまり興味がない。
7929	女性	美容の方に進みたい。4年も行くと人より就職するのが遅くなる。
8106	女性	指定校推薦があるなら、少しは考えてみたい気もする。
8228	女性	私は作業療法士も進路の1つとして考えているが、大学だと学費が高く、支払える金額ではない。もう少し払える金額なら奨学金を借りて行けるかもしれない。
8261	女性	興味が無い。
8770	女性	新しい学科を作られて大変だとは思いますが、頑張って下さい！
8816	男性	行きたい大学があるから。

No	問1 性別	問9 和歌山リハビリテーション専門職大学についての意見
8911	女性	入りたい専門学校がある。
8989	女性	作業療法士か、理学療法士になりたいので、学校が出来ると嬉しい。
9095	女性	リハビリよりもまず自分にやりたいことがあるから。
9138	男性	専門職の大学が駅の近くにあるのが良い。



問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から2つまで選んでください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野   | 9 特色のあるカリキュラム     |
| 2 資格を取得できる     | 10 入試難易度・入試科目     |
| 3 就職実績         | 11 教員の充実度         |
| 4 設置形態（国・公・私立） | 12 クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 5 学校の所在地       | 13 担任や進路指導教員の意見   |
| 6 校舎・施設の充実度    | 14 家族（親や兄弟）の意見    |
| 7 大学の伝統・知名度    | 15 現役大学生や卒業生等の意見  |
| 8 学費（入学金・授業料）  | 16 その他            |

【回答欄】


**【構想の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」についておたずねします。】**

アンケートに同封していますリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 現在構想中の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」について、感じたことを次の中から1つだけ選んでください。

- 1 新しい専門職大学に魅力を感じる
- 2 交通の便が良い
- 3 自宅から通える
- 4 リハビリテーション関係の仕事に興味・関心がある
- 5 就職に有利である
- 6 その他

【回答欄】

--

問7 あなたは「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1 進学を希望する         | } 問8に進んでください |
| 2 進学先の候補の1つとして考える |              |
| 3 進学を希望しない        | } 問9に進んでください |
| 4 わからない           |              |

【回答欄】

--

問8 「問7で1または2を選んだ方」にお聞きします。あなたは「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」の2専攻のうち、どの専攻に進学したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 作業療法学専攻 | 2 理学療法学専攻 |
|-----------|-----------|

【回答欄】

--

問9 その他ご意見、ご要望等がありましたら、下記の空欄にご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 学校法人響和会による「新大学」の開設に関するアンケート調査票

学校法人響和会では、現在、専門学校「和歌山国際厚生学院」を運営していますが、このたびの学校教育法の改正により新たに設けられた専門職大学の検討を進めています。新大学の内容等につきましては、同封のリーフレットをご覧ください。

このアンケート調査は、高校生の皆様の高校卒業後の進路などについてお聞きし、新大学「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」開設構想にあたっての基礎資料とするものです。皆様のご協力をお願いいたします。なお、この調査票は無記名方式です。また、結果はコンピューターにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたり他の目的のために使用したりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。

## ◆構想の大学：和歌山リハビリテーション専門職大学

健康科学部 リハビリテーション学科（入学定員：80人）

学科の構成

{	理学療法学専攻（入学定員：40人）
	作業療法学専攻（入学定員：40人）

\* 構想中であり、大学名称、学部学科名称、専攻名称、定員等は正式に決まったものではありません。

## ◆開設計画時期：2021年4月（令和3年4月）

## ◆開設計画場所：和歌山県和歌山市湊本町3丁目1番地（現在の和歌山市民図書館）

\* 和歌山市駅（南海電鉄本線）から徒歩約5分

問1 あなたの性別についておたずねします。

- 1 男性
- 2 女性

【回答欄】

問2 あなたのお住まいはどちらですか。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 和歌山県和歌山市       | 6 大阪府貝塚市          |
| 2 和歌山県田辺市        | 7 4、5、6以外の大阪府の市町村 |
| 3 1と2以外の和歌山県の市町村 | 8 奈良県             |
| 4 大阪府岸和田市        | 9 三重県             |
| 5 大阪府泉佐野市        | 10 その他（ ）         |

【回答欄】

問3 あなたの進路についておたずねします。  
あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。  
次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- |             |   |            |       |   |            |
|-------------|---|------------|-------|---|------------|
| 1 大学進学      | } | 問4に進んでください | 6 就職  | } | 問9に進んでください |
| 2 専門職大学進学   |   |            | 7 その他 |   |            |
| 3 短期大学進学    |   |            |       |   |            |
| 4 専門職短期大学進学 |   |            |       |   |            |
| 5 専門学校進学    |   |            |       |   |            |

【回答欄】

問4 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- |                                      |                          |   |            |
|--------------------------------------|--------------------------|---|------------|
| 1 リハビリテーション関係<br>（理学療法学・作業療法学・言語聴覚学） | 9 心理学関係                  | } | 問9に進んでください |
| 2 看護学関係                              | 10 法学・政治学関係              |   |            |
| 3 医学・歯学・薬学関係                         | 11 商学・経済学・経営学関係          | } | 問9に進んでください |
| 4 理工学関係                              | 12 教育学・保育学関係             |   |            |
| 5 農学関係                               | 13 社会学・福祉学関係             | } | 問9に進んでください |
| 6 食物学・栄養学関係                          | 14 芸術学関係<br>（音楽・美術・デザイン） |   |            |
| 7 家政学関係（被服・住居）                       | 15 体育学・スポーツ関係            | } | 問9に進んでください |
| 8 文学・外国語関係（史学・哲学含む）                  | 16 その他                   |   |            |

【回答欄】

【回答欄】

（裏面に続く）

問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から2つまで選んでください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野   | 9 特色のあるカリキュラム     |
| 2 資格を取得できる     | 10 入試難易度・入試科目     |
| 3 就職実績         | 11 教員の充実度         |
| 4 設置形態（国・公・私立） | 12 クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 5 学校の所在地       | 13 担任や進路指導教員の意見   |
| 6 校舎・施設の充実度    | 14 家族（親や兄弟）の意見    |
| 7 大学の伝統・知名度    | 15 現役大学生や卒業生等の意見  |
| 8 学費（入学金・授業料）  | 16 その他            |

【回答欄】


**【構想の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」についておたずねします。】**

アンケートに同封していますリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 現在構想中の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」について、感じたことを次の中から1つだけ選んでください。

- 1 新しい専門職大学に魅力を感じる
- 2 交通の便が良い
- 3 自宅から通える
- 4 リハビリテーション関係の仕事に興味・関心がある
- 5 就職に有利である
- 6 その他

【回答欄】

--

問7 あなたは「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」に進学したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1 進学を希望する         | } 問8に進んでください |
| 2 進学先の候補の1つとして考える |              |
| 3 進学を希望しない        | } 問9に進んでください |
| 4 わからない           |              |

【回答欄】

--

問8 「問7で1または2を選んだ方」にお聞きします。  
あなたは「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」の2専攻のうち、どの専攻に進学したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 作業療法学専攻 | 2 理学療法学専攻 |
|-----------|-----------|

--

問9 その他ご意見、ご要望等がありましたら、下記の空欄にご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 和歌山リハビリテーション専門職大学 〔仮称〕

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

## 基本情報

- 学部学科：健康科学部 リハビリテーション学科
- 所在地：和歌山市湊本町3丁目1番地
- 入学定員：理学療法学専攻 40名  
作業療法学専攻 40名
- 設置予定：2021年（令和3年）4月
- 取得資格：理学療法学専攻：理学療法士国家試験受験資格  
作業療法学専攻：作業療法士国家試験受験資格



## 学びの特徴

1

**実践**

を学ぶ

2

**深く  
分かりやすく**

学ぶ

3

**最先端**

を学ぶ

4

**地域**

で学ぶ

## 学費（他校との比較）

大学名・学部名・学科名	所在地	入学金	授業料・施設費等	初年度学費
和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称） 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻	和歌山市湊本町	250,000円	1,500,000円	1,750,000円
宝塚医療大学 和歌山保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻	和歌山市吉田	300,000円	1,500,000円	1,800,000円
大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻	大阪府貝塚市水間	280,000円	1,570,000円	1,850,000円
関西医療大学 保健医療学部 理学療法学専攻・作業療法学専攻	大阪府泉南郡熊取町	200,000円	1,600,000円	1,800,000円

## アクセス 南海電鉄「和歌山市駅」から徒歩約5分



## 主な卒業後の進路

和歌山県内を中心とした、病院・診療所、高齢者施設、訪問看護ステーション、自治体（県市町村役場・支援学校等）など

令和3年度開学予定（設置認可申請中）

和歌山県（初）の医療系専門職大学

**和歌山リハビリテーション専門職大学** 〔仮称〕

【お問い合わせ先】 学校法人 和歌山国際厚生学院  
響和会  
TEL：073-462-0300 / E-mail：kyowa@kyowa.ac.jp

※上記の内容は予定であり、変更する場合があります。

令和3年度開学予定（設置認可申請中） <令和2年9月募集開始予定>

# 和歌山リハビリテーション専門職大学 〔仮称〕

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

## 専門職大学という新しい学びの場



専門職大学とは、大学改革として55年ぶりに2017年に創設された新しい大学制度です。

多様化する日本の社会を見据え、さまざまな分野でプロフェッショナルとして活躍できる人材育成を目標としています。



## 理学療法士とは

理学療法士が行うリハビリは「基本動作の回復・維持・悪化予防」です。

治療方法は、運動的手段による運動療法や物理療法（電気刺激・マッサージなど）を手法として用い、基本動作（起き上がり・筋力強化・座位保持・歩行等）の回復練習を行います。

医療・福祉分野をはじめ、健康増進、スポーツ医学、スポーツトレーナーなどの分野にも活躍の場が広がっています。



## 作業療法士とは

作業療法士が行うリハビリは、「応用動作と社会適応のための能力回復」、日常生活をスムーズにするための複合的動作を可能とする訓練を行うリハビリ専門家です。

日常動作である「生活活動（食事、料理、掃除、読書等）」の練習には、遊び、スポーツや、ゲーム、編み物、陶芸、絵画、音楽などもリハビリの手段として用います。

更に、職業前練習（就労に向けて作業能力・耐久性・集中力・正確性等の向上を目標とした訓練）なども行っています。

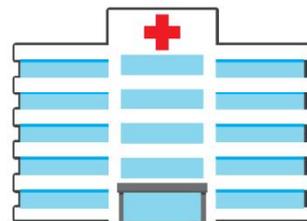
身体・精神・発達・老年期の4分野にわたる幅広い領域が対象となる作業療法士は、病院や施設からの求人が多く、これからますます必要とされてくる職業です。



## 就職先は？

理学療法士と作業療法士の主な就職先としては、身体障害領域の大学病院やリハビリテーション病院、老年期障害領域の老人保健施設や特別養護老人ホーム、発達障害領域の小児病院や児童福祉施設及び精神障害領域の精神科病院や精神保健福祉センター、自治体（県市町村役場・支援学校等）などがあります。

このように、幅広い種別への就職が可能となっています。



令和3年度開学予定（設置認可申請中）

和歌山県（初）の医療系専門職大学

和歌山リハビリテーション専門職大学 〔仮称〕

【お問い合わせ先】

学校法人 響和会 **和歌山国際厚生学院**

TEL: 073-462-0300 / E-mail: kyowa@kyowa.ac.jp

※上記の内容は予定であり、変更する場合があります。

県教第 01090002 号

令和 2 年 1 月 1 5 日

資料 9-4

各県立高等学校長 様

(県) 学校教育局県立学校教育課長

(公印省略)

【仮称】和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻設置申請のためのアンケート調査への協力について (依頼)

このことについて、学校法人響和会和歌山国際厚生学院理事長・校長から別添写しのとおり依頼がありました。

標記専門職大学の設置は、本県高校生の県内進学の実選択肢を増やすこととなります。については、標記アンケート調査に協力願います。

なお、アンケート調査票等は、後日、同学校法人から各学校に届く予定であり、実施後の集計については行う必要がない旨申し添えます。

【担当】

高校教育指導班 指導主事 有本 洋

TEL 073 (441) 3681 FAX 073 (441) 3652

E-mail: arimoto\_h0014@pref.wakayama.lg.jp



令和2年1月7日

和歌山県教育委員会  
教育長 宮崎 泉 様

学校法人 響和会  
和歌山国際厚生学院  
理事長・校長 寺下俊雄



【仮称】和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻設置申請のためのアンケート調査へのご協力について(依頼)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より和歌山国際厚生学院の教育活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校は創立以来、和歌山県における唯一の理学療法士養成校として人材の育成に努めて参りましたが、地域における多様なニーズに応えられるべく資質の高いリハビリテーション医療を担う専門職のより一層の充実を図るため、【仮称】和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻の設置申請を計画することとなりました。

これに伴い、【仮称】和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻の設置申請に必要なアンケート調査を実施する必要があるとございます。

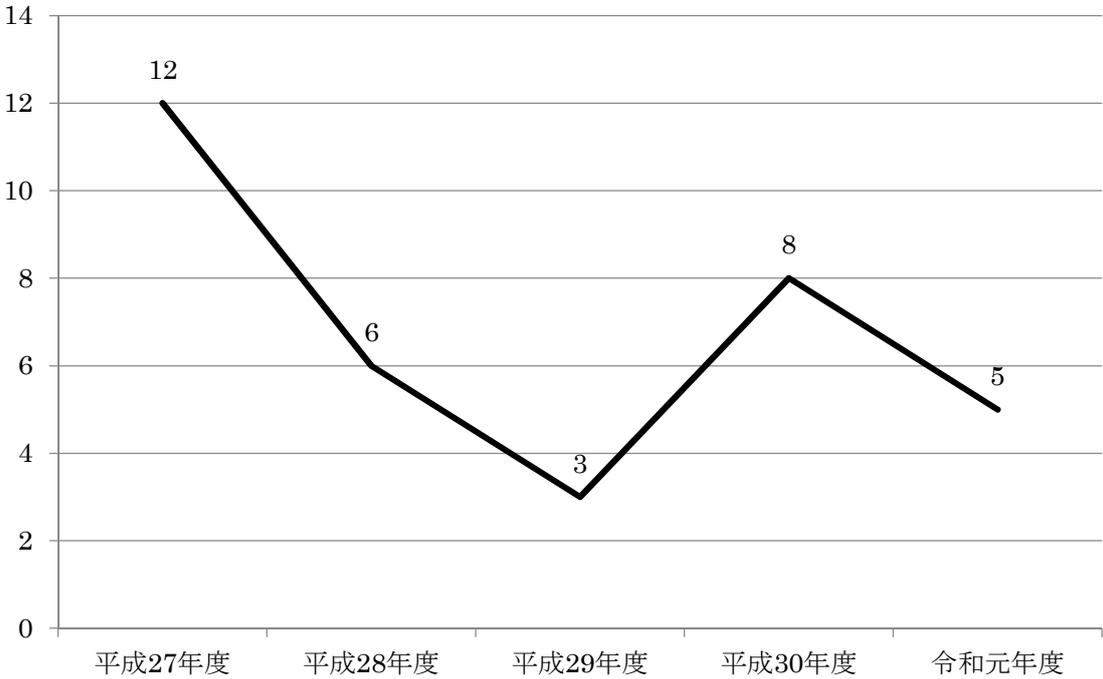
ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、アンケート調査にご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

謹白



○過去 5 カ年度に見る和歌山国際厚生学院における社会人入学者数の推移

単位：人



出典：和歌山国際厚生学院 専門学校事務室 保管データに基づき作成

和歌山県内の私立大学の他、近畿圏内の関連学部の授業料（実習費等を含む）

番号	大学名・学部名・学科名	入学金	授業料・施設費等	初年度学費
1	東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科	300,000	1,602,000	1,902,000
2	和歌山信愛大学教育学部子ども教育学科	200,000	1,180,000	1,380,000
3	宝塚医療大学和歌山保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	300,000	1,500,000	1,800,000
4	大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	280,000	1,570,000	1,850,000
5	関西医療大学保健医療学部理学療法学科・作業療法学科	200,000	1,600,000	1,800,000
6	大阪保健医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	300,000	1,600,000	1,900,000
7	関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	200,000	1,500,000	1,700,000
8	森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科・作業療法学科	250,000	1,580,000	1,830,000
9	藍野大学医療保健学部理学療法学科・作業療法学科	250,000	1,600,000	1,850,000
10	四条畷学園大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	300,000	1,603,100	1,903,100
11	大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻	180,000	1,700,000	1,880,000
12	びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科	400,000	1,200,000	1,600,000

オープンキャンパス・学校説明会 参加状況(過去6年分 2015～2020)

	8期生	9期生	10期生	11期生	12期生	13期生	
開催回数	15回	15回	16回	24回	22回	16回	
募集年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	合計
高校3年生	97	55	40	59	90	120	461
高校2年生	27	16	21	28	38	23	153
高校1年生	2	2	3	8	8	2	25
社会人	7	5	14	10	12	7	55
高校卒認定						1	1
大学・専門学校生	3		1	1		1	6
合計	136	78	79	106	148	154	701

13期生募集に関する開催日程及び参加者数

令和2年度募集		2019年 13期生募集														2020年		
区分	開催日	5/25	6/16	6/30	7/2	7/7	7/21	8/4	8/18	9/7	9/22	10/5	11/16	11/17	12/8	1/13	2/2	参加者 合計
		(土)	(日)	(日)	(火)	(日)	(日)	(日)	(日)	(土)	(日)	(土)	(日)	(日)	(日)	(月祝)	(日)	
高校3年生		9	8	6	0	7	16	12	8	29	15	8	1	0	1	0		120
高校2年生			2			2	2	8	2	1	2						4	23
高校1年生				1			1											2
社会人				2		1	2	1	1									7
高校卒認定															1			1
大学・専門学校生								1										1
合計		9	10	9	0	7	19	17	18	32	16	10	1	0	2	0	4	154

大学卒業者の就職者数・就職率推移：  
文部科学省平成 29～31 年度学校基本調査より

全国	卒業生	就職者数	就職率
平成 29 年 3 月	567,763 人	432,263 人	76.1 %
平成 30 年 3 月	565,436 人	436,097 人	77.1 %
平成 31 年 3 月	572,639 人	446,794 人	78.0 %

和歌山	卒業生	就職者数	就職率
平成 29 年 3 月	1,556 人	1,117 人	71.7 %
平成 30 年 3 月	1,563 人	1,126 人	72.0 %
平成 31 年 3 月	1,566 人	1,152 人	73.5 %

学部別大学卒業者の就職者数と就職率：  
文部科学省令和元年度学校基本調査（速報）より

学部名	卒業生数	就職者数	就職率
保健その他	40,992 人	36,5934 人	89.2 %
家 政	17,351 人	15,876 人	91.4 %
社会科学	185,864 人	162,122 人	87.2 %
教 育	45,854 人	39,280 人	85.6 %
人文科学	81,935 人	67,994 人	82.9 %
保健薬学	12,045 人	9,162 人	76.0 %
農 学	17,921 人	12,705 人	70.8 %
工 学	88,732 人	53,133 人	59.8 %
芸 術	15,519 人	10,156 人	65.4 %
理 学	17,894 人	9,292 人	51.9 %

医療・福祉系産業就業者数と全有業者におけるその割合：

総務省平成 19～29 年就業構造基本調査

全国	医療・福祉系産業 就業者	有業者に占める医療・福祉系産 業 就業者の割合
平成 19 年	59,576 百人	9.0 %
平成 24 年	71,194 百人	11.1 %
平成 29 年	81,593 百人	12.3 %

和歌山	医療・福祉系産業 就業者	有業者に占める医療・福祉系産 業 就業者の割合
平成 19 年	55,500 人	11.2 %
平成 24 年	63,800 人	13.5 %
平成 29 年	70,600 人	15.1 %

本学過去3年間の求人数と求人倍率・就職状況

理学療法学科	卒業生	求人数 (県内)	求人数 (県外)	求人倍 率	就職者数 (国家試験合格 者)
平成28年度	29人	72人	1,404人	50.9倍	26人
平成29年度	36人	83人	1,218人	36.1倍	24人
平成30年度	35人	60人	1,371人	40.9倍	27人

卒業生の和歌山県内就職調べ

専門学校：和歌山国際厚生学院

	入学者	卒業者	国家試験 受験者	過年度 受験者	全体の合 格者数	就職状況	県内	県外	過年度合 格者	備考
第1期生	35	22	18	—	15	15	15	0	—	H24/3 卒
第2期生	34	24	23	7	29	29	27	2	6	H25/3 卒
第3期生	45	36	34	2	30	30	29	1	2	H26/3 卒
第4期生	42	38	36	8	34	34	31	3	3	H27/3 卒
第5期生	41	35	29	12	18	18	14	4	3	H28/3 卒
第6期生	42	29	29	28	49	49	46	3	23	H29/3 卒
第7期生	39	36	36	5	25	25	22	3	1	H30/3 卒
第8期生	42	35	32	13	32	32	25	7	5	H31/3 卒
合 計					232	232	209	23		



**【構想中の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」についておたずねします。】**

アンケートに同封していますリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

**問5** 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法学専攻」についてお伺いします。

- ① 貴施設では、和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法学専攻」の卒業者を理学療法士職員として採用を考えますか。  
次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- |           |   |               |
|-----------|---|---------------|
| 1 採用したい   | } | 問5 ② へお進みください |
| 2 採用を検討する |   |               |
| 3 採用は考えない | } | 問6 へお進みください   |
| 4 わからない   |   |               |

【回答欄】

- ② 問5 ① で「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、「理学療法学専攻」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。  
該当する人数を1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |      |      |           |
|------|------|-----------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5人以上    |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 その他 ( ) |

**問6** 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法学専攻」についてお伺いします。

- ① 貴施設では、和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法学専攻」の卒業者を作業療法士職員として採用を考えますか。  
次の中から該当するものを1つだけ選んでください。

- |           |   |               |
|-----------|---|---------------|
| 1 採用したい   | } | 問6 ② へお進みください |
| 2 採用を検討する |   |               |
| 3 採用は考えない | } | 問7 へお進みください   |
| 4 わからない   |   |               |

【回答欄】

- ② 問6 ① で「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、「作業療法学専攻」卒業者について毎年何人程度の採用が想定されますか。  
該当する人数を1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |      |      |           |
|------|------|-----------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5人以上    |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 その他 ( ) |

**問7** 現在構想中の「和歌山リハビリテーション専門職大学（仮称）」について、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 和歌山リハビリテーション専門職大学 〔仮称〕

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

作業療法学専攻

## 基本情報

- 学部学科：健康科学部 リハビリテーション学科
- 所在地：和歌山市湊本町3丁目1番地
- 入学定員：理学療法学専攻 40名  
作業療法学専攻 40名
- 設置予定：2021年（令和3年）4月
- 取得資格：理学療法学専攻：理学療法士国家試験受験資格  
作業療法学専攻：作業療法士国家試験受験資格



## 学びの特徴

1

**実践**

を学ぶ

2

**深く  
分かりやすく**

学ぶ

3

**最先端**

を学ぶ

4

**地域**

で学ぶ

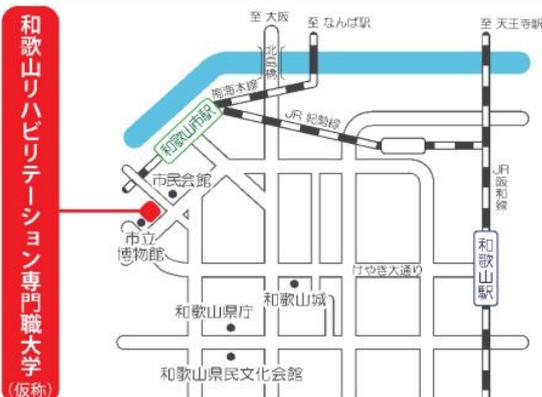
## 専門職大学という新しい学びの場

専門職大学とは、大学改革として55年ぶりに2017年に創設された新しい大学制度です。

多様化する日本の社会を見据え、さまざまな分野でプロフェッショナルとして活躍できる人材育成を目標としています。



## アクセス 南海電鉄「和歌山市駅」から徒歩約5分



## 主な卒業後の進路

和歌山県内を中心とした、病院・診療所、高齢者施設、訪問看護ステーション、自治体（県市町村役場・支援学校等）など

令和3年度 開学予定（設置認可申請中）

和歌山県（初）の医療系専門職大学

**和歌山リハビリテーション専門職大学** 〔仮称〕

【お問い合わせ先】 学校法人 和歌山国際厚生学院  
響和会

TEL：073-462-0300 / E-mail：kyowa@kyowa.ac.jp

※上記の内容は予定であり、変更する場合があります。

## ○事業所アンケート 単純集計結果

問1 設置主体				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	国立	1	0.3	0.3
2	公立(縣市町村立、一部事務組合立等)	25	8.3	8.3
3	医療法人	124	41.3	41.3
4	その他	150	50.0	50.0
	不明	0	0.0	
	計	300	100.0	100.0

問2 所在地				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	橋本市	15	5.0	5.0
2	紀の川市	26	8.7	8.7
3	岩出市	14	4.7	4.7
4	和歌山市	114	38.0	38.0
5	海南市	15	5.0	5.0
6	御坊市	10	3.3	3.3
7	田辺市	21	7.0	7.0
8	新宮市	9	3.0	3.0
9	その他	76	25.3	25.3
	不明	0	0.0	
	計	300	100.0	100.0

問3 病床数				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0床	230	76.7	77.2
2	1～19床	16	5.3	5.4
3	20～49床	2	0.7	0.7
4	50～99床	15	5.0	5.0
5	100～199床	20	6.7	6.7
6	200～299床	5	1.7	1.7
7	300～499床	8	2.7	2.7
8	500床以上	2	0.7	0.7
	不明	2	0.7	
	計	300	100.0	100.0

問4-① 理学療法士職員数				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	112	37.3	38.8
2	1～10人	142	47.3	49.1
3	11～20人	23	7.7	8.0
4	21～30人	7	2.3	2.4
5	31人以上	5	1.7	1.7
	不明	11	3.7	
	計	300	100.0	100.0

問4-① 理学療法士職員数(うち非常勤)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	156	52.0	70.3
2	1～10人	65	21.7	29.3
3	11～20人	1	0.3	0.5
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	78	26.0	
	計	300	100.0	100.0

問4-① 理学療法士職員数のうち大学卒業者数				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	157	52.3	66.5
2	1～10人	71	23.7	30.1
3	11～20人	8	2.7	3.4
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	64	21.3	
	計	300	100.0	100.0

問4-① 理学療法士職員数のうち大学卒業者数(うち非常勤)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	181	60.3	91.9
2	1～10人	16	5.3	8.1
3	11～20人	0	0.0	0.0
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	103	34.3	
	計	300	100.0	100.0

問4-② 作業療法士職員数				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	155	51.7	60.5
2	1～10人	95	31.7	37.1
3	11～20人	5	1.7	2.0
4	21～30人	1	0.3	0.4
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	44	14.7	
	計	300	100.0	100.0

問4-② 作業療法士職員数(うち非常勤)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	199	66.3	87.3
2	1～10人	29	9.7	12.7
3	11～20人	0	0.0	0.0
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	72	24.0	
	計	300	100.0	100.0

問4-② 作業療法士職員数のうち大学卒業者数				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	192	64.0	82.1
2	1～10人	42	14.0	17.9
3	11～20人	0	0.0	0.0
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	66	22.0	
	計	300	100.0	100.0

問4-② 作業療法士職員数のうち大学卒業者数(うち非常勤)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	0人	213	71.0	96.8
2	1～10人	7	2.3	3.2
3	11～20人	0	0.0	0.0
4	21～30人	0	0.0	0.0
5	31人以上	0	0.0	0.0
	不明	80	26.7	
	計	300	100.0	100.0

問5-① 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法専攻」 卒業生に対する理学療法士職員としての採用意向				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	採用したい	41	13.7	13.9
2	採用を検討する	94	31.3	31.8
3	採用は考えない	75	25.0	25.3
4	わからない	86	28.7	29.1
	不明	4	1.3	
	計	300	100.0	100.0

問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法専攻」 卒業生に対する理学療法士職員としての採用想定人数					
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	1人	71	23.7	52.6	53.4
2	2人	22	7.3	16.3	16.5
3	3人	5	1.7	3.7	3.8
4	4人	0	0.0	0.0	0.0
5	5人以上	0	0.0	0.0	0.0
6	その他	35	11.7	25.9	26.3
	不明	2	0.7	1.5	
	非該当	165	55.0		
	計	300	100.0	100.0	100.0

問6-① 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法専攻」 卒業生に対する作業療法士職員としての採用意向				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(不明を除く)%
1	採用したい	38	12.7	13.0
2	採用を検討する	81	27.0	27.6
3	採用は考えない	81	27.0	27.6
4	わからない	93	31.0	31.7
	不明	7	2.3	
	計	300	100.0	100.0

問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法専攻」 卒業生に対する作業療法士職員としての採用想定人数					
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(非該当を除く)%	(非該当と不明を除く)%
1	1人	62	20.7	52.1	52.5
2	2人	24	8.0	20.2	20.3
3	3人	1	0.3	0.8	0.8
4	4人	0	0.0	0.0	0.0
5	5人以上	0	0.0	0.0	0.0
6	その他	31	10.3	26.1	26.3
	不明	1	0.3	0.8	
	非該当	181	60.3		
	計	300	100.0	100.0	100.0

## ○事業所アンケート クロス集計結果

問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業生に対する理学療法士職員としての採用想定人数 × 問5-① 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法学専攻」卒業生に対する理学療法士職員としての採用意向

上段:度数 下段:%		問5-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「理学療法学専攻」 卒業生に対する理学療法士職員としての採用想定人数							
		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	その他	不明
問5-① 和歌山リハビリ テーション専門 職大学 健康科 学部 リハビリ テーション学科 「理学療法学専 攻」卒業生に 対する理学療 法士職員とし ての採用意向	全体	135 100.0	71 52.6	22 16.3	5 3.7	0 0.0	0 0.0	35 25.9	2 1.5
	採用したい	41 100.0	22 53.7	11 26.8	3 7.3	0 0.0	0 0.0	5 12.2	0 0.0
	採用を検討する	94 100.0	49 52.1	11 11.7	2 2.1	0 0.0	0 0.0	30 31.9	2 2.1
	採用は考えない	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-

問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業生に対する作業療法士職員としての採用想定人数 × 問6-① 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法学専攻」卒業生に対する作業療法士職員としての採用意向

上段:度数 下段:%		問6-② 和歌山リハビリテーション専門職大学 健康科学部 リハビリテーション学科「作業療法学専攻」 卒業生に対する作業療法士職員としての採用想定人数							
		合計	1人	2人	3人	4人	5人以上	その他	不明
問6-① 和歌山リハビリ テーション専門 職大学 健康科 学部 リハビリ テーション学科 「作業療法学専 攻」卒業生に 対する作業療 法士職員とし ての採用意向	全体	119 100.0	62 52.1	24 20.2	1 0.8	0 0.0	0 0.0	31 26.1	1 0.8
	採用したい	38 100.0	22 57.9	13 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.9	0 0.0
	採用を検討する	81 100.0	40 49.4	11 13.6	1 1.2	0 0.0	0 0.0	28 34.6	1 1.2
	採用は考えない	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-